

目 次

歳時記	1
特集 昭和56年度全国・県統計グラフコンクール審査結果	2
調査から 昭和55年毎月勤労統計調査地方調査結果概要	6
市町村だより 下妻市統計図表展について	14
主要経済指標	16
人口	
1. 世帯, 人口および人口移動	18
2. 市町村別人口と世帯	18
労働	
3. 産業別賃金指数	20
4. 産業別雇用指数	20
5. 産業別労働時間	21
6. 職業紹介状況	21
農業	
7. 農産物の平均販売価格	22
鉱工業・エネルギー	
8. 鉱工業生産指数(原指数)	23
9. 産業別電力消費量	24
10. 石油製品販売量	24
金融・経済	
11. 金融機関別実質預金・貸出残高	25
12. 県内金融経済	26
13. 企業倒産状況	26
喫煙室	
新着資料案内	36
伝言板	37
家計・物価	
14. 家計主要指標(水戸市・全国)	27
15. 1ヵ月1世帯当りの収入 (水戸市勤労者世帯)	28
16. 1ヵ月1世帯当りの支出 (水戸市勤労者世帯)	28
17. 消費者物価指数(水戸市)	29
18. 卸売物価指数(全国)	30
福祉	
19. 生活保護	30
20. 消費生活相談	31
建築	
21. 建築主別建築着工	31
22. 着工新設住宅	32
その他	
23. レジャー状況	32
24. 交通事故発生件数	33
25. 自動車保険請求相談	33
26. 刑法犯罪発生件数	34
27. 火災発生件数	34

利用上の注意

1. 統計表の数値は原則として単位未満は四捨五入
2. 「年」は暦年, 「年度」は4月から翌年の3月まで
3. 記号

— 零または該当数字のないもの	r 訂正数字
0 該当数字が掲載単位未満のもの	△ 減少または出超
… 不詳のもの	x 秘密保持のため掲載をひかえたもの
p 暫定数字	



落 葉

昨夜の氷雨を吸った落葉が一面に横たわっている。心にひんやりと浸み入る点景である。

私もついに、去りゆくものの時の流れが、想念でなく実感として、近しく感じられる年齢に達したのか。雲間を切れる陽光も、心を鼓舞することなく、私の感性を是認しているようである。

11月のおもな行事

- 5～6日 産業連関表事務打合会(群馬県)
工業統計調査実務担当者会議(栃木県)
- 10～11日 家計調査及貯蓄動向調査地方別打合会(山梨県)
- 12日 第23回茨城県統計大会(谷田部町「第一圏民センター」)
- 14～17日 茨城県統計グラフコンクール入選作品一般展示(水戸市川又書店駅前店)
- 17～20日 工業統計調査市町村事務打合会(水戸市、麻生町、大和村、桜川村)
- 18～19日 関東5県統計主管課長会議(千葉県)
昭和56年度県民所得研究会(水戸市)
- 26～27日 法人企業投資動向調査ブロック会議(福島県)

本県作品初めて行政管理庁長官特別賞を受賞……………

《統計グラフ全国コンクール》

昭和56年度統計グラフ全国コンクールにおいて、岩井市立弓馬田小学校3年生(石沢淳, 小林正一, 張替聡子合作)の作品「使われていないぼくらのつくえ」が、本県としては初めて行政管理庁長官特別賞に選ばれました。同賞は、全国から応募された全作品(今年度54,256点)の中から最優秀作品1点に与えられるものです。

10月6日の受賞決定の日、中曾根長官から弓馬田小学校に祝福の電話があり、3児童をはじめ関係者は受賞の喜びに包まれていました。

同コンクールは、国民に対する統計思想の普及向上と統計の表現技術の研さんに資するため、全国統計協会連合会の主催により、全国の小学生・中学生・高校生・大学生及び一般から募集しているもので、今年度は第29回です。

本県は、担任の先生方をはじめ関係者の熱心な努力によって、毎年質・量とも全国トップレベルにあり、昨年までも特選をはじめとして常に上位入選をはたしていました。今年度も応募作品5,306点の中から、地区審査、県審査をへて各部位上位5点計20点を全国コンクールに出品していたものです。

全国コンクール入選者は下記のとおりです。

なお、特別賞を受賞した弓馬田小学校の3児童は、10月28日山口県山口市で開催された全国統計大会において表彰されました。

第29回統計グラフ全国コンクール入選者

第1部 ▷特選(行政管理庁長官特別賞)「使われていな



全国統計大会での表彰

統計グラフ全国コンクール
行政管理庁長官特別賞



岩井市立弓馬田小学校3年

石沢 淳, 小林正一, 張替聡子

いぼくらのつくえ」(岩井市立弓馬田小学校3年 石沢淳, 小林正一, 張替聡子)▷佳作「おはなししようお父さん」(三和町立八俣小学校3年 仲田公則, 小林正美)

第2部 ▷9席「体の不自由な人にもっとあたたかい手を」(結城市立結城小学校6年 飯島美知子, 荒川かおる, 川野淳子)▷佳作「忙しい救急車」(日立市立水木小学校5年 山田瑞穂), 「私たちの読書熱」(友部町立北川根小学校6年 津田信子), 「ぼくらテレビっ子」(笠間市立笠間小学校4年 永地純子, 前川陽子, 根本恵子, 浅野恵美子)

第3部 ▷4席「中学生の心の支え苦勞の多い母親」(結城市立結城中学校3年 戸坂由紀子, 稲葉君枝)▷5席「米, 考えさせられる米作の行方」(結城市立結城中学校3年 大山博之, 軒信治)▷8席「親と子相互理解が大切」(結城市立結城中学校2年 染谷淳子, 橋本幸子, 白井瑞江子)

第5部 ▷4席「わが家の味はどこへ」(友部町 青木勇一)▷佳作「みんなで無くそう! 交通死亡事故」(水戸市 会沢勉)

昭和56年度統計グラフ全国コンクール
茨城県統計グラフコンクール審査結果

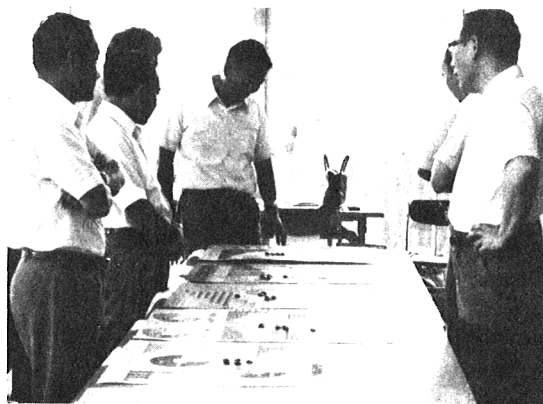
《茨城県統計グラフコンクール》

昭和56年度茨城県統計グラフコンクールは、全国に先立ち9月11～12日の2日間県審査を行い、今年度入選作品が決定しました。

昨年も本欄で紹介しましたが、県コンクールも全国と同じ要領により行われており、今年で第32回を数えます。

応募作品数は今年度さらに増加し、総数5,306点(第1部1,946点,第2部2,723点,第3部630点,第5部7点)を数えました。

主な入選者は次ページのとおり。表彰は11月12日筑波郡谷田部町「第一圏民センター」で開催される第23回茨城県統計大会で表彰されます。



県審査風景

選 評

審査員 茨城県統計教育研究部長 田村 恵
全国統計教育研究協議会研究委員

(統計茨城の面目躍如) 昨年度の出品点数は、4,517点もあって関係者を驚かせたが、本年度はさらに記録を更新し5,306点という快記録を樹立した。5千の大台を軽く越すとは3年前には予想もし得なかったことで、まさに全国一の応募、「統計茨城」の立証といえよう。

(第1部で特選、弓馬田小に喚声) 本年の出品作品のうち、全国に出品した優秀作品では岩井市立弓馬田小学校3年の作品「使われていないぼくらのつくえ」が見事に特選、日本一に輝やいた。きわめて身近な用具である机の使用状況を観察調査し結果をグラフ化したもので、大人への警句といったらよいと思う。鋭い着眼とその出来ばえはよき指導者を得ている証左といえる。行政管理庁長官賞も得たことも画期的。

(作品の傾向) 第1部の作品は実験観察という制約上、作品の表題も交通機関、動植物、家庭生活にしばられているなかで、父母に対する要求事項が目についた。これは現代っ子の率直な態度がそうさせるのであろうか。

第2部の傾向というと、本年は身障者にスポットをあてた作品、テレビ、経済、まんが等の身近な問題を作品化していて、地についた客観的な姿勢がうかがえた。

第3部の傾向というと、「性・進路・悩み・消エネ・暴走族等」新聞、テレビを賑わしている社会問題が多く取り挙げられている作品が目についた。また、中学三年の作品が

多くなったのも嬉しい限り。

第4部は高校部門であるが、昨年は2点ながら応募があった。しかし本年は1点もなかったのはまことに残念で、その隘路はなにか、高校側の問題はなにか検討課題であろう。

第5部は一般部門で7点応募が見られたが、これは緒口がつかめたことであり、今後大いに期待されよう。

(優秀作品とその背景) 知事賞を得た大穂町立前野小学校2年の新井美津子さんの作品「おかあさんこんな朝ごはんがたべたい」は子どもらしい発想で、できればもしっかりしていた。朝食をとりたくもいろいろな事情があるのか、この作品から家庭生活の反省を求めているようである。

常澄村立稲荷一小1年の「およげた」は本当に子どもらしいよこびがグラフに表現されており、見る者をして共感を得るようである。

笠間市立笠間小4年の作品「ぼくらテレビっ子」はテレビに対する生活の反省が色濃く出ている。結城市立結城小6年の作品「体の不自由な人にもっとあたたかい手を」は身障者年ということもあって、強い呼びかけがあり、形式的でない福祉を強調している。

結城中3年の作品「米、考えさせられる米作の行方」は迫力があって1億の日本人に見せてやりたい作品、米の問題をわかり易くグラフ化した力量に敬服したい。同じく知事賞の結城中2年「科学万博一つくば'85に期待する」の作品は、つくば万博に対する意識調査の結果を力づくで表現しており、グラフの特質をよく表現し、見る者に新たな感銘を起させている。

優秀作品が多くしかもユニークな作品が多く、校内、市

町村，地区，中央という4段階を経てきただけに，すぐれた作品が多く，審査員に嬉しい悲鳴を挙げさせたのも事実であった。

第32回茨城県統計グラフコンクール入選者

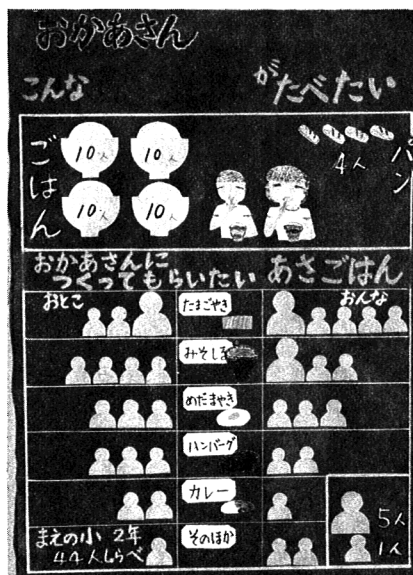
特選知事賞 ▷第1部「おかあさんこんなあさごはんがたべたい」(大穂町立前野小学校2年 新井美津子)▷第2部「ぼくらテレビっ子」(前掲)▷第3部「米，考えさせられる米作の行方」(前掲)，「科学万博——つくば'85に期待する」(結城市立結城中学校2年 宮田豊，中原健彦)▷第5部「わか家の味はどこへ」(前掲)

県議会議長賞 ▷第1部「およげた」(常澄村立稲荷第一小学校1年 遠藤典子，小林寛之，渡辺広子，田上裕子，高野智恵，高田香)▷第2部「体の不自由な人にもっとあたたかい手を」(前掲)▷第3部「中学生の悩み」(結城市立結城南中学校1年 岩佐香代，田中早苗，中沢由美)▷第5部「霞ヶ浦は泣いている」(友部町 稲野辺敏明)

県教育長賞 ▷第1部「もっときょうだいが欲しい」(北茨城市立大津小学校1年 大井川知望，浦田浩孝)，「おはなししようお父さん」(前掲)，「使われていないぼくらのつくえ」(前掲)▷第2部「忙しい救急車」(前掲)，「私たちの読書熱」(前掲)，「全国小・中学生の帰宅後の過ごし方」(日上市立油繩子小学校6年 山縣啓子，山縣経子)▷第3部「親と子相互理解が大切」(結城市立結城中学校2年 染谷淳子，橋本幸子，臼井瑞江子)，「1981国際障害者年ともに生きる社会を！もっと理解と愛情を示そう」(神栖町立神栖第一中学校3年 村岡亜紀子)，「中学生の心の支え，苦勞の多い母親」(前掲)

県統計協会総裁賞 ▷第1部「おかあさんがとってもよろこぶとき」(北茨城市立明德小学校1年 鈴木千秋)，「ありさんも日かげがすきだよ」(日上市立水木小学校1年 渡辺学)，「いただきまーす」(茨城町立上野合小学校2年 村田直美，真家里美，中村幸枝，木村恵美)，「ならいものは女の子がおおい」(高萩市立東小学校2年 鈴木拓雄，宮本純司)，「三年生・ぼくのわたしのゆめ」(土浦市立真鍋小学校3年 山田豊)▷第2部「きゅうりは夜も育っている」(水戸市立梅ヶ丘小学校4年 柴宏枝)，「水泳こんなに上手に」(笠間市立笠間小学校4年 田中哲也，坪一彦，菅井武志)，「大子町をおとずれる観光客数どうなっているか」(大子町立大子小学校5年 小沢瑞司)，「あいさつのできない現代

《第1部》



大穂町立前野小学校2年

新井美津子

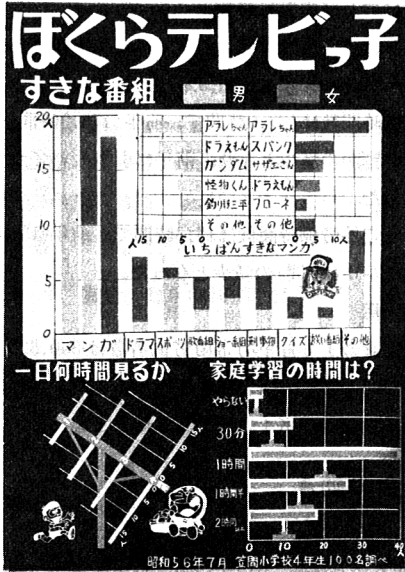
っ子」(茨城町立広浦小学校5年 海老沢浩平，海老沢義郎，金沢浩，海老沢浩治)，「養豚家大規模になる」(結城市立江川南小学校5年 大嶋京子，田中加代子，中村みどり)▷第3部「しかられるのはいやだけど……」(結城市立結城南中学校1年 広瀬真弓，矢中恵美子，渡辺祥子)，「君ならどう思う校内暴力」(日上市立中里中学校2年 大森晴美，和田真由美)，「全生徒部活動加入中学生，父母はこう考える」(下館市立下館中学校3年 高橋ひろみ，新山郁代)，「たまには静かに過したい」(日上市立中里中学校3年 草地佳代子，菊地美穂子)，「学習塾へ通っていますか」(石岡市立石岡中学校3年 土原三府)▷第5部「高まる家庭の省エネ」(勝田市 川野辺清)

茨城新聞社長賞 ▷第1部「もったいない電車の中のわすれもの」(結城市立結城小学校3年 鈴木夕子，湯本真己子，小田島希)▷第2部「中学生への期待」(日上市立水木小学校6年 八島明美，宮本奈都子)▷第3部「爽り多かった宿泊学習」(結城市立結城中学校2年 川田好美，中島真子，遠井泉)▷第5部「みんなで無くそう！交通死亡事故」(前掲)

(統計課・統計指導グループ)

知事賞受賞作品

《第2部》



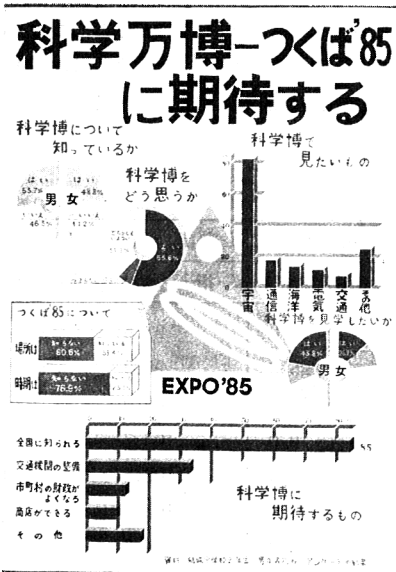
笠間市立笠間小学校4年
永地 純子 根本 恵子
前川 陽子 浅野 恵美子

《第3部》



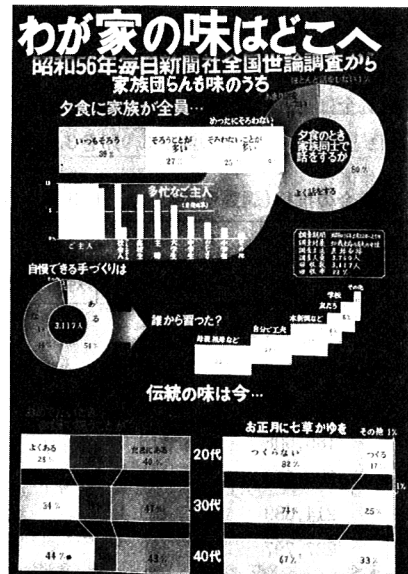
結城市立結城中学校3年
大山 博之 軒 信治

《第3部》



結城市立結城中学校2年
宮田 豊 中原 健彦

《第5部》



友部町 青木 勇

昭和55年実質賃金は0.8%の微増……………

はじめに

この調査は、常用労働者数30人以上の事業所の中から抽出した約430事業所の報告をもとに集計した結果です。

なお今年から、同特別調査の調査対象が拡大され、1～29人規模事業所の都道府県別結果が集計されたので、併せて掲載します。

1. 概 況

昭和54～55年にかけての我が国経済は、国内民間需要および輸出に支えられ、自律的、本格的な景気上昇過程を歩んだ。しかしこの景気上昇はいわゆる第2次石油危機の試練に見舞われ、それまで安定していた卸売物価も騰勢を強め、消費者物価もその影響を受けることになった。こうした情勢のなかで、経済政策は物価の安定を最重要視して展開された。このような経済状況のもと、茨城県における賃金、労働時間及び雇用の動きを昭和55年毎月勤労統計調査結果からみると、その概況は次のとおりである。

(1) 賃 金

調査産業計（サービス業を含む。以下同じ）の常用労働者の平均月間現金給与額（名目賃金）は247,518円で、前年（227,797円）に比べ9.1%増（前年7.2%増）となり、前年の伸びを1.9ポイント上回った。

また、実質賃金は消費者物価指数の上昇もあって前年に比べ0.8%増にとどまり、前年の伸び3.9%を3.1ポイント

下回る結果となった。

(2) 出勤日数及び労働時間数

調査産業計の常用労働者1人1ヵ月平均出勤日数は21.6日で、前年（21.7日）に比べ0.5%（0.1日）の減少となった。

総実労働時間数は177.0時間で、前年（178.5時間）に比べ0.3%（1.5時間）の減少となり、前年に引き続いてわずかながら低下した。

なお、所定外労働時間数は15.3時間で、前年（15.6時間）に比べ1.9%（0.3時間）の減少となった。

(3) 雇 用

調査産業計の1ヵ月平均常用労働者数は360,523人で、前年（336,866人）に比べ4.3%の増加であった。これは前年（3.4%）の伸びを0.9ポイント上回る結果となった。

2. 賃金の動き

(1) 賃金水準

平均現金給与総額 247,518円…対前年比 9.1%の増加

全国平均 263,380円

平均定期給与額 184,479円…対前年比14.3%の増加

全国平均 193,923円

茨城県における調査産業計の常用労働者平均月間現金給与総額（名目賃金）は247,518円で、前年（227,797円）に比べ9.1%増となり、前年の増加率7.2%に比べ1.9ポイント上回った。その結果、増加率は前回に引き続きわずかながら前年の伸びを上回った。

表一 賃金の推移（調査産業計・サービス業を含む）

昭和50年 = 100

区 分	名 目 賃 金			消 費 者 物 価		実 質 賃 金	
	実 数	指 数	対前年増減率	指 数	対前年増減率	指 数	対前年増減率
48年	110,684 ^円	67.5	—	72.1	12.0 [%]	93.6	— [%]
49	143,128	86.6	28.3	90.3	25.2	95.9	2.5
50	166,470	100.0	15.5	100.0	10.7	100.0	4.3
51	186,008	113.0	13.0	109.0	9.0	103.7	3.7
52	200,576	121.6	7.6	118.4	8.6	102.7	△ 1.0
53	214,689	129.4	6.4	123.0	3.9	105.2	2.4
54	227,797	138.7	7.2	126.9	3.2	109.3	3.9
55	247,518	151.3	9.1	137.3	8.2	110.2	0.8

注) 消費者物価は5市平均(水戸市、日立市、土浦市、古河市、下館市)の総合です。

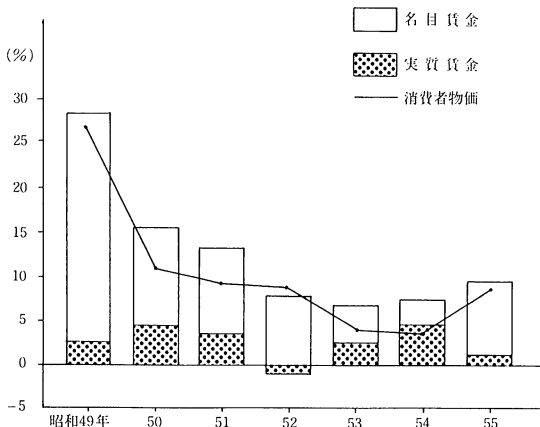
昭和55年毎月勤労統計調査地方調査結果概要

きまって支給する給与(定期給与)は184,479円で、前年(172,588円)に比べ7.4%増となり、前年の増加率6.3%を1.1ポイント上回った。その結果、前年まで低下が続いていた対前年増減率は減少から増加に転じた。

特別に支払われた給与(賞与等)は1ヵ月平均額63,039円(年間累計額756,466円)で、前年(55,209円)に比べ14.3%増となり、前年の増加率10.2%を4.1ポイント上回った。

実質賃金を昭和50年を100とした指数によってみると、

図一 賃金の動き(対前年増加率)



前年に比べて0.8%増となり、前年の増加率3.9%を3.1ポイント下回る結果となった。

(2) 産業別賃金

産業別に現金給与総額をみると、電気・ガス・水道・熱供給業が31万円台と最も高く、最も低いのは卸売業・小売業で、全産業で初めて20万円台に達した。

これを対前年増減率でみると、前年の伸び率を下回った産業は建設業、卸売業・小売業、電気・ガス・水道・熱供給業であり、その他の産業は増加となっているが、そのうち特に運輸・通信業、金融・保険業及びサービス業の伸びが目立っている。

きまって支給する給与をみると、現金給与総額の場合と同様に、電気・ガス・水道・熱供給業が最も高く、卸売業・小売業が最も低くなっている。

これを対前年増減率でみると、建設業、卸売業・小売業、電気・ガス・水道・熱供給業及び製造業が前年の伸びを下回り、上回ったのは運輸・通信業、金融・保険業及びサービス業の3産業である。

特別に支払われた給与についてみると、金融・保険業が最も高く、以下電気・ガス・水道・熱供給業、サービス業の順となり、前年に比べて、運輸・通信業、サービス業が著しい増加を示している。

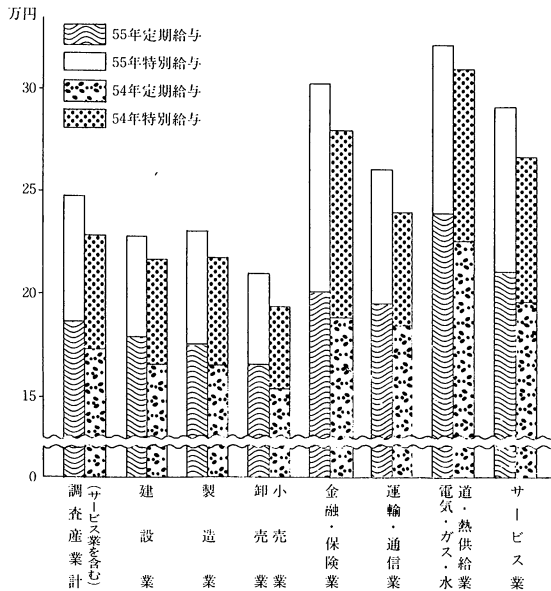
表一 産業別賃金の動き

区 分	現金給与総額			きまって支給する給与			特別に支払われた給与		
	実 数	対前年増減率		実 数	対前年増減率		実 数	対前年増減率	
		55 年	54 年		55 年	54 年		55 年	54 年
調査産業計 (サービス業を含む)	247,518	9.1	7.2	184,479	7.4	6.3	63,039	14.3	10.2
調査産業計 (サービス業を除く)	235,074	7.7	7.3	177,291	6.3	6.2	57,783	12.2	11.2
E 建設業	226,102	9.2	19.6	179,518	8.4	9.1	46,578	12.4	95.0
F 製造業	229,901	7.9	7.7	173,586	6.5	6.9	56,333	11.3	10.3
G 卸売業・小売業	208,062	5.2	8.9	163,947	4.1	7.4	44,116	9.4	15.3
H 金融・保険業	293,354	5.6	△ 1.1	199,343	5.8	△ 0.9	94,002	5.1	△ 1.8
J 運輸・通信業	258,472	10.6	3.2	192,946	6.4	2.3	65,526	24.7	6.6
K 電気・ガス・水道・熱供給業	317,813	5.0	5.7	234,057	5.9	6.7	83,757	2.6	3.2
L サービス業	286,788	10.6	6.3	207,184	8.7	6.1	79,604	15.7	6.8

調査から

製造業中分類のうち主要な産業について現金給与総額をみると、非鉄金属が284,878円と前年に続いて最も高く、

図一 産業別賃金



以下化学工業、一般機械、電気機械の順となっている。

これを対前年増減率でみると、前年を大きく下回ったのは繊維工業であり、また前年の増加率を上回ったのは衣服、化学工業等6産業で、特に窯業・土石、精密機械の2産業は2桁台の伸びとなっている。きまって支給する給与では、対前年増減が前年を上回ったのは窯業・土石、金属製品、輸送機械、精密機械の4産業であった。また特別に支払われた給与では、繊維工業、木材・木製品の2産業が対前年増減率で前年を下回ったが、他の産業はそれぞれ前年の伸びを上回っている。

(3) 賃金格差

① 全国平均との格差

本県と全国平均の賃金水準を「現金給与総額」の調査産

表一 全国平均との比較

区 分	現金給与総額	名目賃金指数 (50年=100)		実質賃金指数 (50年=100)	
		対前年増減率	対前年増減率	対前年増減率	対前年増減率
	円	%		%	
茨城県	247,518	151.3	9.1	110.2	0.8
全 国	263,386	147.6	7.0	107.6	△0.9

表一 製造業中分類における賃金の動き

区 分	現金給与総額			きまって支給する給与			特別に支払われた給与		
	実 数	対前年増減率		実 数	対前年増減率		実 数	対前年増減率	
		55 年	54 年		55 年	54 年		55 年	54 年
	円	%		円	%		円	%	
18 食料品	200,764	6.7	6.6	152,902	7.3	8.4	47,862	4.9	1.0
19 食料品									
20 繊維工業	150,045	△2.0	11.4	117,361	1.0	7.1	32,683	△11.6	33.3
21 衣服	114,475	5.9	5.0	98,054	6.1	6.6	16,421	4.5	△2.7
22 木材・木製品	197,404	1.5	3.2	151,526	3.2	4.8	45,878	△3.6	△4.9
26 化学工業	264,685	9.0	7.9	191,347	6.5	6.8	73,337	16.0	11.2
30 窯業・土石	213,452	11.7	5.5	167,281	10.4	4.2	46,261	16.4	11.0
32 非鉄金属	284,878	4.8	7.5	214,936	3.4	7.2	69,942	9.3	8.8
33 金属製品	216,500	8.5	2.8	164,887	6.3	2.1	51,613	15.9	5.1
34 一般機械	263,196	7.0	7.5	197,607	5.5	7.4	65,590	11.5	8.2
35 電気機械	242,653	6.7	9.5	181,401	5.8	8.2	61,252	9.2	13.9
36 輸送機械	185,181	9.6	7.4	148,790	9.3	8.1	36,391	10.5	5.2
37 精密機械	179,762	10.0	6.5	137,431	8.3	6.6	42,331	15.8	5.6

表一五 賃金水準の対全国平均比較

区 分	全 国		茨 城 県	
	現金給与 総 額	全国基準	現金給与 総 額	対全国比
48年	122,545	100.0	110,684	90.3
49	154,967	100.0	143,128	92.4
50	177,213	100.0	166,470	93.9
51	200,242	100.0	186,008	92.9
52	219,620	100.0	200,576	91.3
53	235,378	100.0	214,689	91.2
54	247,933	100.0	227,797	91.9
55	263,386	100.0	247,518	94.0

業計によって比較すると、本県は247,518円で、全国平均の263,386円に比べ15,868円低い。

また、対前年増加率をみると、名目賃金、実質賃金とも全国平均を1.9、1.7ポイントそれぞれ上回っている。

全国平均を100として本県の賃金水準をみると、51年以降格差が拡大する傾向にあったが、55年は94.0となり、僅かながら格差を縮小した。

② 産業間賃金格差

現金給与総額の調査産業計を100とした産業間格差の割合をみると、もっとも高い電気・ガス・水道・熱供給業(128.4)に対し、もっとも低い卸売業・小売業(84.1)は65.5%、次いで建設業71.1%、製造業72.4%となっており、産業間の格差は依然として大きいですが、前年に比べて全体としての格差は縮小した。

表一六 産業間賃金格差(現金給与総額)

調査産業計=100

区 分	調査産業計 (サービス業を含む)	建 設 業	製 造 業	卸売業・小売業	金融・保険業	運輸・通信業	電気・ガス・水道・ 熱供給業	サービス業
48年	100.0	96.8	94.3	78.6	101.3	113.8	137.2	122.2
49	100.0	95.8	94.8	77.5	103.9	110.2	127.6	122.8
50	100.0	92.9	93.0	74.7	111.4	119.1	135.1	122.9
51	100.0	88.5	92.9	75.0	128.1	112.2	130.6	122.2
52	100.0	79.8	93.8	74.9	131.5	112.7	134.5	119.2
53	100.0	78.3	95.1	74.2	127.5	109.5	134.1	117.7
54	100.0	90.2	94.4	84.3	121.2	103.7	133.1	114.9
55	100.0	91.3	92.4	84.1	118.5	104.4	128.4	115.9

表一七 産業間賃金格差(きまって支給する給与)

調査産業計=100

区 分	調査産業計 (サービス業を含む)	建 設 業	製 造 業	卸売業・小売業	金融・保険業	運輸・通信業	電気・ガス・水道・ 熱供給業	サービス業
48年	100.0	102.3	96.0	80.4	96.5	114.9	132.1	113.8
49	100.0	102.4	95.4	81.7	95.5	114.7	129.6	115.6
50	100.0	99.4	93.7	79.3	97.2	119.2	130.9	119.5
51	100.0	95.8	94.9	77.7	111.4	115.1	128.8	114.9
52	100.0	88.8	95.1	79.4	115.6	112.9	128.4	114.4
53	100.0	90.0	95.7	78.7	112.8	112.2	127.2	113.4
54	100.0	95.1	95.3	87.9	108.2	106.3	128.3	111.6
55	100.0	97.3	94.1	88.9	108.1	104.6	126.9	112.3

■ 調査から

表一八 産業別男女間賃金格差

区 分	実 数		指 数 (男=100)	
	男	女	男	女
調査産業計 (サービス業を含む)	292,757	149,697	100.0	51.1
建設業	244,317	119,487	100.0	48.9
製造業	279,826	117,265	100.0	42.0
卸売業・小売業	263,364	131,901	100.0	50.1
金融・保険業	413,370	192,490	100.0	46.6
運輸・通信業	269,477	173,905	100.0	64.5
電気・ガス・水道・熱供給業	330,331	197,144	100.0	59.7
サービス業	338,681	201,543	100.0	59.5

きまって支給する給与についても現金給与総額と同じ傾向となっている。

③ 男女間賃金格差

調査産業計の現金給与総額について、男子を100としてみると、女子は51.1となり前年に比べ0.3ポイント下回っている。

産業別に男女間格差をみると、製造業がもっとも格差が大きく、ついで金融・保険業、建設業の順となっており、これらの産業では女子の賃金が男子の半以下となっている。

3. 出勤日数及び労働時間の動き

(1) 出勤日数

茨城県における調査産業計の常用労働者1人1ヵ月平均出勤日数は21.6日で、前年(21.7)に比べ0.5%(0.1日)の減少であった。

表一九 出勤日数及び労働時間の動き

区 分	出 勤 日 数		総実労働時間数		所定内労働時間数		所定外労働時間数	
	実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
調査産業計 (サービス業を含む)	21.6	△ 0.5	177.0	△ 0.3	161.8	△ 0.3	15.3	0.3
建設業	23.1	1.3	194.8	1.9	181.0	2.8	13.8	△ 9.2
製造業	20.9	△ 0.9	178.5	△ 0.1	160.4	△ 0.6	18.1	4.3
卸売業・小売業	22.4	△ 0.4	167.2	△ 0.8	158.6	△ 0.4	8.5	△ 6.4
金融・保険業	22.2	0.5	161.9	2.7	150.5	2.5	11.4	6.6
運輸・通信業	22.1	△ 0.5	184.5	△ 0.6	161.0	△ 1.0	23.5	3.3
電気・ガス・水道・熱供給業	22.3	△ 0.9	187.1	△ 1.9	167.0	△ 1.3	20.1	△ 7.3
サービス業	22.4	0.4	173.3	△ 0.8	163.8	△ 0.7	9.5	△ 3.1

少であった。

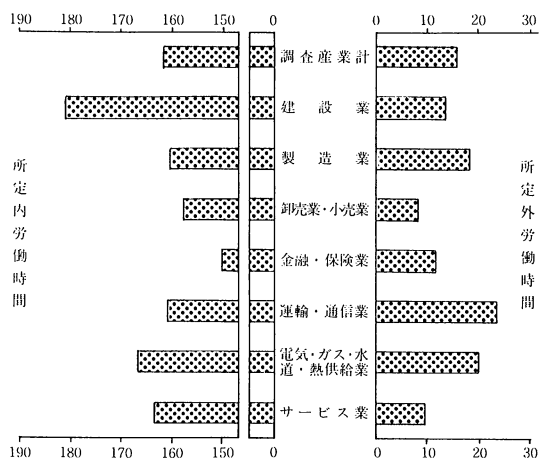
産業別にみると、建設業が23.1日でもっとも多く、製造業が20.9日でもっとも少ない。

(2) 労働時間数

調査産業計の常用労働者1人1ヵ月平均総実労働時間数は177.0時間で、前年(178.5時間)に比べ0.3%(1.5時間)の減少であった。

総実労働時間数を「所定内労働時間数」と「所定外労働時間数」にわけてみると、所定内労働時間数は161.8時間で、

図一三 産業別1ヵ月平均労働時間



前年(162.9時間)に比べ0.3%(1.1時間)減少し、所定外労働時間数は15.3時間で、前年(15.6時間)に比べ1.9%減少した。所定内労働時間数は年々減少傾向にあるが、所定外労働時間数は横ばい傾向である。

産業別に労働時間数の動きをみると、総実労働時間数では建設業が194.8時間でもっとも多く、金融・保険業が161.9時間でもっとも少ない。

所定外労働時間数では運輸・通信業が23.5時間と最も多く、卸売業・小売業が8.5時間で最も少ない。

なお総実労働時間数の最も少ない金融・保険業の所定外労働時間数が、前年に引き続いて大きく伸びている。

4. 雇用の動き

(1) 雇用の水準

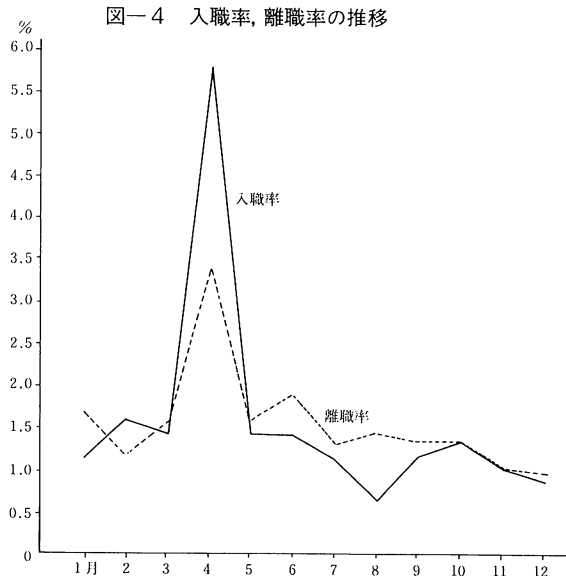
昭和55年における1ヵ月平均常用労働者数は360,523人で、前年に比べ7.0%(23,657人)増加となった。これを産業別にみると、サービス業は21.3%(15,271人)と大幅な伸びを示しているが、運輸・通信業を除いた各産業は小幅な増加となっている。

また、雇用の動きを雇用指数(昭和50年=100)によってみると、サービス業が157.3と著しい伸びを示し、次いで

卸売業の135.4、以下建設業、金融・保険業と続いている。

(2) 入職率、離職率

昭和55年における常用労働者の異動の状況を入・離職率



(注) 入(離)職率(%) = $\frac{\text{当月増加(減少)常用労働者数(人)}}{\text{前月末常用労働者数(人)}} \times 100$

表一10 産業別推計常用労働者数

区分	調査産業計 (サービス業を含む)	建設業	製造業	卸売業・小売業	金融・保険業	運輸・通信業	電気・ガス・水道・熱供給業	サービス業
54年(人)	336,866	14,082	177,079	27,830	11,757	29,100	3,954	71,607
55年(人)	360,523	14,868	182,103	29,136	12,530	29,137	4,027	86,878
対前年増減率(%)	4.3	0.9	1.1	2.6	1.2	△ 2.1	2.2	18.4

表一11 産業別雇用指数

(昭和50年=100)

区分	調査商業計 (サービス業を含む)	建設業	製造業	卸売業・小売業	金融・保険業	運輸・通信業	電気・ガス・水道・熱供給業	サービス業
49年	101.1	112.2	103.4	101.1	97.0	96.1	92.1	89.1
50	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	103.4	93.5	101.7	112.3	95.9	105.1	103.3	107.5
52	107.5	104.9	104.7	118.5	96.2	108.1	104.4	114.2
53	110.6	115.5	105.2	124.1	107.8	109.4	103.7	121.6
54	114.4	118.9	106.0	132.0	117.7	111.7	103.9	132.8
55	119.8	120.0	107.2	135.4	119.1	109.3	106.1	157.3

■ 調査から

でみると、調査産業計の年平均入職率は1.6%で、前年に比べ0.1ポイント上回り、年平均離職率は1.5%となり、前年に比べ0.2ポイント上回った。その結果、0.1ポイント入職率超過となった。

また、調査産業計の異動率(年間累計)は入職率が18.8%で、前年に比べ0.5ポイント上回り、離職率は18.4%で、前年と比べ2.3ポイント上回った。

(3) 常用労働者の産業別・性別構成

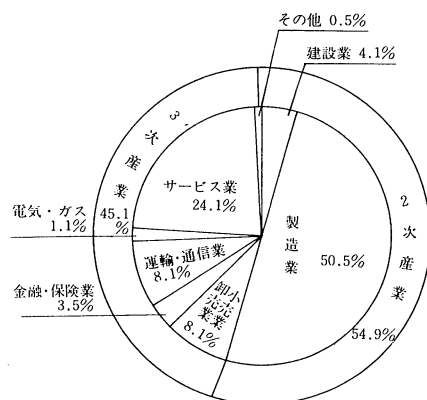
常用労働者の産業別構成をみると、製造業は、減少傾向にあるが50.5%と全体の過半数を占めており、次いでサービス業24.1%、その他の産業は8.1%以下となっている。

表-12 常用労働者の男女別構成

区分	男		女	
	人	構成比 %	人	構成比 %
54年	233,477	69.3	103,389	30.7
55	246,503	68.4	114,020	31.6

また、性別構成をみると、男子労働者が246,503人で68.4%、女子労働者が114,020人で31.6%であった。これを前年(男69.3%、女30.7%)に比べると、女子労働者の割合が0.9ポイント上回る(前年2.1ポイント増)結果となった。

図-5 常用労働者の産業別構成



5. (参考) 企業規模1~29人事業所の賃金及び雇用

表-13 規模別、産業別、性別労働者構成

(単位: %)

産業	1 ~ 4 人			5 ~ 29 人			30 人以上		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
調査産業計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
鉱業	x	x	x	x	x	x	x	x	x
建設業	15.9	27.7	3.3	13.7	19.6	5.9	4.1	5.1	1.9
製造業	11.0	11.5	5.3	26.6	23.0	31.3	50.5	51.2	49.1
卸売業・小売業	49.3	38.3	60.9	23.7	20.6	27.7	8.1	6.8	10.8
金融・保険業	x	x	x	x	x	x	3.5	2.3	6.0
運輸・通信業	1.9	2.6	1.1	8.4	12.5	3.0	8.1	10.5	2.9
電気・ガス・水道・熱供給業	x	x	x	x	x	x	1.1	1.5	0.3
サービス業	20.0	17.6	22.5	20.0	17.0	24.0	24.1	21.9	28.8

表-14 性及び規模別定期給与及び格差(調査産業計)

事業所規模	定期給与 (円)			格差 (30人以上=100)		
	計	男	女	計	男	女
30人以上	186,680	219,311	116,135	100.0	100.0	100.0
5 ~ 29	149,612	185,275	103,149	80.1	84.5	88.8
1 ~ 4	120,080	151,594	86,608	64.3	69.1	94.6

表-15 規模別，産業別，性別定期給与

産 業	規 模 1 ～ 4 人			規 模 5 ～ 29 人		
	計	男	女	計	男	女
調 査 産 業 計	120,080	151,594	86,608	149,612	185,275	103,149
鉱 業	—	—	—	x	x	x
建 設 業	151,956	159,351	86,902	170,363	185,359	105,274
製 造 業	110,052	143,682	71,442	124,590	167,611	83,508
卸 売 業・小 売 業	108,193	144,741	83,818	135,106	173,235	97,882
金 融・保 険 業	x	—	x	178,434	240,321	128,761
不 動 産 業	178,738	232,272	84,223	x	x	x
運 輸・通 信 業	155,814	170,920	117,870	176,834	193,639	87,072
電 気・ガ 斯・水 道・熱 供 給 業	—	—	—	x	x	x
サ ー ビ ス 業	120,659	145,661	99,927	160,341	196,097	127,562

表-16 規模別，産業別特別に支払われた現金給与額（規模5～29人は特別給与及び支給割合）

産 業	規 模 1 ～ 4 人			規 模 5 ～ 29 人			
	特別に支払われた現金給与額			年 末 賞 与		夏 季 賞 与	
	計	男	女	支 給 額	支 給 事 業 所 割 合 %	支 給 額	支 給 事 業 所 割 合 %
調 査 産 業 計	177,246	209,781	139,279	218,289	87.6	179,556	85.4
鉱 業	—	—	—	—	—	—	—
建 設 業	120,696	123,286	97,316	192,518	85.3	161,730	83.8
製 造 業	173,675	236,769	106,394	132,299	94.5	112,294	93.6
卸 売 業・小 売 業	157,274	231,577	101,758	205,816	79.5	169,525	74.5
金 融・保 険 業	x	—	x	432,031	100.0	388,676	100.0
不 動 産 業	284,555	320,582	206,630	x	x	x	x
運 輸・通 信 業	304,433	284,628	349,794	202,651	87.5	169,633	81.3
電 気・ガ 斯・水 道・熱 供 給 業	—	—	—	x	x	x	x
サ ー ビ ス 業	254,628	271,039	240,512	271,565	91.3	208,783	91.3

(統計課・人口労働統計グループ)

下妻市統計図表展について

48年4月統計の席をあたためて間もなく、茨城統計情報事務所出張所より、地域統計活動モデル地区として事業を行なうので、是非協力をとの話があり、当時、「統計ほど出鱈目なものはない」と、時折り耳にしていたので、これには係として大いに反発を感じていた矢先でもあり、子供達の教育には勿論、親達(大人)の関心を高めるには最も良い方法であり、統計の重要性と有りのままの申告ができるよう、思想の向上に努力すべきことが当面の課題であると思われ、心よくお引き受けし努力することにした。

49年第1回農林統計図表展として、下妻市、関東農政局茨城統計情報事務所出張所主催にて行なうはこびになった。幸い、予算も協力体制も関係機関の理解によりスムーズに整い、実行委員会を結成、委員長に市長を、副委員長に出張所長、教育長を、委員には、校長会長、教育研究会長、学校統計教育正、副部長、農協組合長、出張所次長、統計情報官、教委事務局長、商工課長、統計係長等を以って組織した。

尚、全国農林統計協会連合会、農林統計協会、県統計協会、県生鮮食料品流通情報協会、農林統計協会下妻支部、県農業共済組合連合会県西出張所、市教育委員会、市農業委員会、市農業協同組合、市農業共済組合、市統計事務協議会等の協賛を得た。

実施要領には、目的に「農林統計思想の普及、向上と統計についての理解と関心を高め、農業経営の安定を図るに必要な統計、統計の表現、技術の研さん、統計教育等を推進するため市内の児童、生徒から農林統計図表を募集し展示する」と、当時農林統計のみとした。

主催は、下妻市、関東農政局茨城統計情報事務所出張所、茨城農林統計協会。

応募資格は、第1部…市内小学校4年生以上の児童。

第2部…市内中学校生徒。

規格は、国・県図表コンクールの応募規格に合せ、県コンクールに優秀作品を出品できるようにした。

出品点数 各学校1学級3点とし、計184点に規制した。

審査 審査員は、市役所2名、統計事務所2名、学校4名、学識経験者1名の合計9名を委嘱。資料の適切さ、表現技術を基準に、小・中学校各金賞18点、銀賞20点、銅賞40点を選出。

展示会 下妻市産業文化祭の11月23日～25日、全出品点数184点を展示した。

表彰 最優秀作品を金賞とし、関東農政局長、同部長を初め関係機関協賛団体長より表彰を受けた。

表彰式 文化祭の最終日午後、市役所大会議室に於いて県統計課長、茨城農林協会長、全国農林統計協会会長等多数の来賓臨席の上表彰をうけ、受賞児童、生徒達は感激し、「来年もよりよい作品を」と、決意の謝辞をのべていた。特に初回には、出張所長のはからいにて赤飯まで用意し、お祝いをしたので、児童、生徒達は大喜びであった。

第3回までは、主として農林水産統計図表であることと規定したため、小学校高学年(4年生以上)を第1部とし、第2部を中学生としたが、第4回目からは、出張所のモデル地区としての3ヶ年が完了したので、小学校低学年も含めて、3部に分け、課題も県コンクールと同じく自由にした。出品点数も多くなり、1学級3点としたが、それでも総出品数が400点にも及び、審査は8時半から5時、6時までにもなり一苦勞であった。だが作成する児童、生徒は、それ以上に苦勞をしている。学校では教科にない教育をし、子供達は、夏休みの宿題として統計図表を作らなければならない。部、クラブ活動の合間に資料集めである。市役所に来たものも百人以上にもなる。今迄は、資料集めも勉強の一つとして統計書の見方から図表のタイトル、構成などはと言っては、統計書を与えていたにすぎなかったが、今は時間との戦いでもあり、よりよい知識を、より多く求める中では、図表を作り易いよう、市の統計のまとめを作らなければならない。

中には、親達が資料作りに統計書から書き取っている姿も見うけられた。又、低学年の作品の中にも、大人の手のはいったものと思われるものもあったが、審査には全面的なものは除外するが、ある程度は目をつむることにした。というのも統計思想の普及、向上面から大人に大いに関心をもってもらいたい、理解を深めてもらいたいという統計係としての大きな望みがあったからである。お陰で統計調査にも問題が少なくなり、積極的に協力を望んできておられ、図表展による成果は十二分に果されていると自負している。作品も、当初は幼稚さが多かったが、最近はどうも金賞にしてもはずかしくない程度にレベルアップしてきている。

国・県コンクールにも二席とか佳作と、数回入賞もしている。だが、1点の優秀作品よりは、全員の参加する図表

展に大きな意義があると思う。しかし、会場の都合で全作品が展示出来ないのが残念でならない。提出作品以外は、各学校にて展示をしている。このように市内ほとんどの児童、生徒が参加(2000点に及ぶ)していることは、下妻市の大きな自慢である。だが欲を言えば図表の構図、グラフ、文字、配色等非常にうまく、大人顔まけの作品揃いになっては来ているが、観るものに対し、美観とタイトル、内容に対する興味を与えるものがほしい。グラフにより強力に伝達されてこそ、その目的が果されるものであろう。

今回、第8回目を迎え、10月23日に作品審査も終了し、各賞が決定している。金賞36点。金賞は席次をつけず表彰者にふさわしい優秀作品を表彰するようにしている。残りを銀賞とし、実行委員長賞を与えている。ちなみに今回の賞をかかげてみる。

- 下妻市長賞 「どこへ行く、市財政」 中学3年
- 「図書室利用状況」 小学6年
- 関東農政局茨城統計情報事務所長賞
- 「下妻農業の姿」 中学3年
- 「下妻の豚はこう変わった」 小学6年
- 議長賞 「国際障害者年にちなんで」 中学2年

- 「としよかんでよむ小学生の本」 小学2年
- 教育長賞 「中学生のくらし」 中学1年
- 「市の図書館はどのように利用されているか」 小学4年

その外、下妻出張所長賞2点、全国農林統計連合会長賞2点、(財)農林統計協会会長賞2点、県統計協会会長賞2点、農委会長賞2点、県生食流通協会会長賞2点、真結支部長賞2点、農協組合長賞3点、商工会長賞3点、茨農共連県西所長賞2点、農共組合長賞2点、市統計協会会長賞2点、計36点。

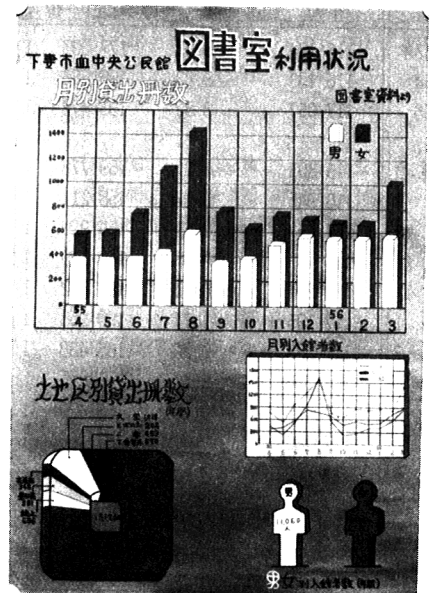
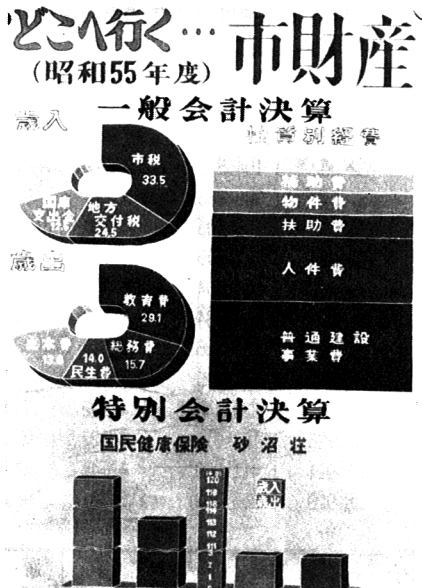
尚、参加製作者は第1部570人、第2部667人、第3部854人、計2091点、審査作品313点(各学級3点以内と限定)、展示用作品162点(会場の都合で限定選出)。

予算関係は市委託料10万円、出張所委託料3万円、協賛費11万円、計24万円で運営をしている。

支出は賞状、副賞、参加賞、写真アルバム代等が主である。

今年も文化祭の人気会場となることであろうが、市内小・中学校先生方の指導、関係各機関のご協賛、ご協力の賜と感謝している次第です。

(下妻市経済部商工課課長補佐兼統計係長 飯村明男)



主 要 経

茨 城 県

年 月	世 帯 と 人 口			金 融 機 関 預 貸 金 (増 減)		手 形 交 換 高 (8手形交換所分)		百 貨 店 売 上 高 (主要5店)	鉱 工 業 生 産 指 数 (鉱工業総合 原 指 数)
	世 帯	人 口	人 口 増 加 率	実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額		
	世 帯	人	%	億 円		千 枚	百 万 円	百 万 円	昭50年=100
昭和53年	631 560	2 461 806	19.14	3 975	1 939	2 533	1 884 676	50 331	147.1
54	649 566	2 508 471	18.96	3 770	1 608	2 590	1 963 707	47 790	166.3
55	692 480	2 557 903	19.71	4 074	1 562	2 538	2 112 981	50 783	174.8
55. 9	667 110	2 551 592	...	1 107	139	222	182 298	3 342	177.2
10	692 480	2 557 903	0.95	△ 758	60	210	181 650	4 344	168.3
11	693 366	2 560 329	0.97	898	310	177	142 944	4 041	168.9
12	694 225	2 562 807	1.28	1 782	340	272	232 179	7 004	174.9
56. 1	695 010	2 566 077	0.90	△ 1 561	△ 252	183	175 068	4 437	146.6
2	695 588	2 568 377	0.75	△ 87	244	195	155 657	3 455	166.6
3	696 171	2 570 311	△ 0.50	1 867	218	208	181 918	4 239	183.9
4	696 210	2 569 030	3.30	△ 847	△ 138	206	197 044	4 688	180.6
5	701 796	2 577 501	1.18	462	△ 226	190	159 262	4 128	167.9
6	703 394	2 580 533	1.29	1 138	48	223	204 135	3 802	175.2
7	704 579	2 583 866	0.92	256	255	218	180 081	4 781	174.3
8	705 198	2 586 232	1.82	△ 62	173	201	173 128	3 333	158.4
9	706 331	2 590 930	3 277	...
資 料	県 統 計 課			日 本 銀 行 水 戸 事 務 所					

(注) 百貨店売上高のうち、昭和53年は主要6店、56年8月以降は主要4店の売上高。

全 国

年 月	人 口		銀 行 券 発 行 高	全 国 銀 行 勘 定		手 形 交 換 高		百 貨 店 売 上 高	鉱 工 業 生 産 指 数 (鉱工業総合 原 指 数)
	人 口	人 口 増 加 率		実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額		
	千 人	%	億 円 (年月末)		千 枚	億 円	億 円	昭50年=100	
昭和53年	115 174	8.93	177 093	1 226 190	1 194 977	423 555	10 193 416	48 934	122.9
54	116 133	8.33	190 686	1 312 993	1 272 550	434 864	11 697 195	52 206	133.1
55	117 057	8.82	193 472	1 418 839	1 364 746	432 685	14 251 469	57 226	142.4
55. 8	116 803	1.21	159 778	1 359 307	1 325 733	32 202	1 104 515	3 877	130.9
9	116 945	0.77	158 211	1 385 019	1 324 290	37 842	1 336 288	3 973	146.2
10	117 057	0.63	155 929	1 361 821	1 329 674	36 192	1 259 105	4 690	145.0
11	117 132	0.65	160 529	1 405 008	1 347 683	31 089	1 077 945	4 848	142.6
12	117 207	△ 0.11	193 472	1 418 839	1 364 746	46 746	1 533 504	8 985	147.4
56. 1	117 195	1.14	160 953	1 389 278	1 370 704	31 008	1 190 884	4 008	130.4
2	117 328	0.22	165 438	1 404 684	1 380 059	32 887	1 150 386	3 778	139.9
3	117 355	0.51	168 275	1 457 783	1 392 981	35 588	1 318 845	5 189	152.8
4	117 415	0.55	168 429	1 460 497	1 393 931	35 059	1 325 448	4 592	147.3
5	117 480	...	161 486	1 486 366	1 399 385	32 726	1 107 015	4 527	140.4
6	p117 580	...	170 989	1 499 714	1 405 750	37 911	1 411 039	4 545	149.2
7	p117 660	...	168 786	1 489 629	1 420 801	38 920	1 366 093	6 201	p150.4
8	p117 670	...	167 789
資 料	総 理 府 統 計 局		日 本 銀 行 統 計 局				通 産 省		

(注) ※は年度数値。世帯と人口の各年の数値は10月1日現在。
全国の産業用大口電力消費量は9電力会社の計。

経済指標

茨城県

調査産業 平均賃金	賃金指数	雇用指数	有効 求人倍率	消費者 物価指数 (水戸市)	家計消費支出 (水戸市 勤労者)	産業用 電力消費量 (50kW以上)	建築着工		年月	
							サービス業を含む	工事費額		床面積
214 689	129.4	110.6	※0.94	122.5	210 018	※5 223 272	524 149	6 133	昭和53年	
227 797	138.7	114.4	※1.21	126.6	207 637	※6 016 817	524 417	6 116	54	
247 518	151.3	119.8	※1.04	136.9	230 264	※6 063 199	577 697	5 781	55	
188 879	115.4	119.6	1.09	138.4	215 787	497 125	44 508	428	55. 9	
191 081	116.8	119.3	1.20	139.2	195 499	536 602	49 409	507	10	
192 542	117.7	119.3	1.06	139.9	221 805	495 403	48 817	454	11	
580 133	354.6	119.1	1.03	138.5	330 714	495 056	58 655	533	12	
192 845	117.9	121.4	0.94	140.8	217 113	447 621	32 901	331	56. 1	
192 835	117.9	121.5	0.92	140.6	214 388	457 894	39 934	371	2	
217 955	133.2	121.3	0.89	141.9	262 964	484 977	40 290	425	3	
196 477	120.1	123.4	0.89	143.5	268 569	499 959	47 033	481	4	
201 728	123.3	123.3	0.90	144.4	247 453	510 775	47 937	464	5	
423 449	258.8	123.4	0.92	144.7	351 551	503 532	38 541	407	6	
293 965	179.7	123.1	1.02	144.4	268 682	541 218	45 449	444	7	
212 583	129.9	123.1	1.06	142.7	p 256 591	524 178	56 799	473	8	
...	1.05	145.3	...	519 304	9	
県 統 計 課			県職業 安定課	県 統 計 課		東京電力 茨城支店	県 建 築 指 導 課		資 料	

全 国

調査産業 平均賃金	賃金指数	雇用指数	有効 求人倍率	消費者 物価指数	家計消費 支出 (勤労者)	産業用大口 電力消費量	建築着工		年月	
							サービス業を含む	工事費額		床面積
235 378	88.0	98.7	0.56	89.4	208 232	※181 345	198 229	231 997	昭和53年	
247 909	93.5	99.2	0.71	92.6	222 438	※194 395	223 387	245 300	54	
263 386	100.0	100.0	0.75	100.0	238 126	※188 925	227 598	220 973	55	
231 015	87.8	100.4	0.74	100.3	236 704	15 186	20 274	19 232	55. 8	
199 684	75.9	100.2	0.72	102.1	216 568	15 845	19 400	17 934	9	
205 412	78.0	100.1	0.72	102.3	229 730	16 261	19 153	17 961	10	
208 360	79.2	100.3	0.72	102.5	224 713	15 501	17 367	16 323	11	
603 180	229.2	99.9	0.72	102.1	357 187	15 590	19 110	17 150	12	
210 092	79.8	99.3	0.72	103.1	229 434	14 903	12 584	11 497	56. 1	
201 260	76.5	99.1	0.71	103.0	209 791	14 709	16 225	14 792	2	
229 048	87.1	99.2	0.67	103.5	264 637	15 854	18 054	17 006	3	
208 522	79.2	101.9	0.66	104.3	253 357	15 253	22 106	20 176	4	
211 130	80.2	101.8	0.65	105.2	233 498	15 209	25 662	22 816	5	
380 545	144.6	101.8	0.66	105.3	243 455	15 903	20 662	18 977	6	
p 375 489	p 142.7	101.5	0.69	105.0	264 510	16 385	18 357	16 860	7	
...	8	
労 働 省			総 理 府 統 計 局		通 産 省	建 設 省		資 料		

1. 世帯, 人口および人口移動

(単位: 世帯, 人)

年月日	世帯数	人 口			対前年(月) 増減数	人 口 移 動				
		総 数	男	女		自 然 動 態		社 会 動 態		外国人 増 減
						出 生	死 亡	転 入	転 出	
53.10.1	631 560	2 461 806	1 223 059	1 238 747	47 032	37 938	16 385	133 838	108 438	79
54.10.1	649 566	2 508 471	1 247 456	1 261 015	48 381	37 394	16 036	138 748	112 052	327
55.10.1	692 480	2 557 903	1 272 390	1 285 513	42 869	35 712	16 736	134 025	110 322	190
55. 9.1	667 110	2 551 592	1 269 614	1 281 978	4 919	3 078	1 197	10 930	7 839	△ 53
10.1	692 480	2 557 903	1 272 390	1 285 513	3 843	3 433	1 205	8 346	6 780	49
11.1	693 366	2 560 329	1 273 657	1 286 672	2 426	2 774	1 248	8 144	7 244	…
12.1	694 225	2 562 807	1 274 805	1 288 002	2 478	2 626	1 341	7 885	6 692	…
56. 1.1	695 010	2 566 077	1 276 311	1 289 766	3 270	2 818	1 498	8 970	7 020	…
2.1	695 588	2 568 377	1 277 397	1 290 980	2 300	2 911	1 630	7 116	6 097	…
3.1	696 171	2 570 311	1 278 401	1 291 909	1 933	2 570	1 396	7 415	6 656	…
4.1	696 210	2 569 030	1 277 126	1 291 904	△1 280	2 818	1 613	19 984	22 469	…
5.1	701 796	2 577 501	1 282 312	1 295 189	8 481	2 922	1 502	23 582	16 521	…
6.1	703 394	2 580 533	1 283 917	1 296 616	3 032	2 978	1 337	9 243	7 852	…
7.1	704 579	2 583 866	1 285 551	1 298 315	3 333	2 945	1 273	8 639	6 978	…
8.1	705 198	2 586 232	1 286 712	1 299 520	2 366	3 001	1 387	8 461	7 709	…
9.1	706 331	2 590 930	1 288 968	1 301 962	4 698	3 040	1 164	10 518	7 696	…

(注) (1) 人口移動のうち, 年別人口移動については各年の年間数値を, 月別人口移動については前月の月間数値を示す。資料: 県統計課

(2) 55.10.1 世帯数・人口は昭和55年国勢調査による概数。昭和50年国勢調査を基礎として推計してきた55.9.1 までの世帯数・人口とは若干の相違(誤差率0.1%)があり, 55.11.1 以後は前者を基礎としているので留意を要する。

2. 市町村別人口と世帯

(単位: 人, 世帯)

市町村	昭和55年 10月1日 人口総数	56年9月1日			市町村	昭和55年 10月1日 人口総数	56年9月1日		
		人口総数	対前月 増減数	世帯数			人口総数	対前月 増減数	世帯数
総 数	2 557 903	2 590 930	4 698	706 331	竜ヶ崎市	43 131	43 529	22	11 925
市 部	1 246 939	1 259 083	1 894	365 391	那珂湊市	33 324	33 269	30	8 821
郡 部	1 310 964	1 331 847	2 804	340 940	下妻市	30 731	31 010	57	7 659
水戸市	215 563	217 763	291	70 783	水海道市	40 434	40 730	47	9 869
日立市	204 612	204 949	44	63 601	常陸太田市	35 980	35 988	51	9 650
土浦市	112 517	113 928	269	34 382	勝田市	92 620	94 634	226	28 115
古河市	56 656	56 858	36	16 355	高萩市	32 436	32 742	43	9 604
石岡市	47 830	48 155	69	13 582	北茨城市	47 672	48 307	144	13 336
下館市	61 325	61 675	50	16 201	笠間市	31 226	31 191	41	8 103
結城市	49 259	49 853	122	12 577	取手市	71 246	73 634	324	21 281
					岩井市	40 377	40 868	28	9 547

市町村	昭和55年 10月1日 人口総数	56年9月1日			市町村	昭和55年 10月1日 人口総数	56年9月1日		
		人口総数	対前月 増減数	世帯数			人口総数	対前月 増減数	世帯数
東茨城郡	138 457	138 802	164	34 649	稲敷郡	159 029	164 700	686	41 894
常澄村	9 839	9 878	5	2 213	江戸崎町	13 089	13 296	9	3 320
茨城町	32 901	33 263	69	8 086	美浦村	13 509	13 581	25	3 725
小川町	18 027	17 949	41	4 139	阿見町	33 721	34 342	121	9 369
美野里町	19 337	19 647	21	5 014	牛久町	40 170	43 065	350	11 522
内原町	14 336	14 301	17	3 317	基崎村	16 855	18 720	191	4 765
常北町	10 718	10 736	8	2 816	新利根村	8 799	8 890	16	1 989
桂村	6 850	6 829	4	1 791	河内村	11 516	11 382	△ 10	2 581
御前山村	5 205	5 141	2	1 356	桜川村	8 110	8 121	△ 1	1 803
大洗町	21 244	21 058	△ 3	5 917	東村	13 260	13 303	△ 15	2 820
西茨城郡	67 625	67 962	79	16 936	新治郡	117 413	119 751	253	33 115
友部町	26 515	26 627	38	6 980	出島村	17 822	17 868	2	4 204
岩間町	15 330	15 578	23	3 886	玉里村	7 008	7 166	24	1 708
七会村	2 892	2 887	12	673	八郷町	28 316	28 462	40	6 255
岩瀬町	22 888	22 870	6	5 397	千代田村	20 976	21 536	77	6 299
那珂郡	119 087	119 713	133	32 260	新治村	8 784	8 816	△ 19	2 051
東海村	29 197	29 685	34	8 480	桜村	34 507	35 903	129	12 598
那珂町	37 624	37 969	67	10 005	筑波郡	108 956	112 087	292	29 160
瓜連町	7 144	7 142	10	1 807	谷田部町	29 410	30 825	77	9 456
大宮町	24 522	24 510	17	6 616	伊奈村	22 207	23 412	164	5 793
山方町	9 408	9 345	△ 3	2 522	谷和原村	10 710	10 934	23	2 482
美和村	5 791	5 728	6	1 411	豊里町	11 469	11 511	—	2 591
緒川村	5 401	5 334	2	1 419	筑波町	22 552	22 582	△ 6	5 386
久慈郡	53 047	52 456	14	13 697	大穂町	12 608	12 823	34	3 452
金砂郷村	10 724	10 605	△ 2	2 741	真壁郡	77 809	78 261	75	18 313
水府村	7 702	7 613	3	1 989	関城町	15 692	15 878	8	3 632
里美村	5 097	5 018	△ 4	1 315	明野町	17 679	17 768	2	4 203
大子町	29 524	29 220	17	7 652	真壁町	20 837	20 766	14	4 958
多賀郡	10 902	10 946	18	2 901	大和村	7 450	7 496	19	1 630
十王町	10 902	10 946	18	2 901	協和町	16 151	16 353	32	3 890
鹿島郡	166 447	168 524	234	46 091	結城郡	51 830	52 296	85	11 574
旭村	10 564	10 598	11	2 312	八千代町	22 849	23 085	75	4 910
鉾田町	27 464	27 514	43	6 713	千代川村	8 606	8 642	—	1 941
大洋村	9 701	9 715	15	2 200	石下町	20 375	20 569	10	4 723
大野村	12 533	12 634	△ 6	2 974	猿島郡	110 204	112 541	353	27 217
鹿島町	38 822	39 633	65	12 337	総和町	36 335	37 241	80	10 145
神栖町	32 253	33 200	88	9 959	五霞村	8 645	8 660	△ 16	1 957
波崎町	35 110	35 230	18	9 596	三和町	24 704	25 852	245	6 000
行方郡	71 731	71 843	58	17 237	猿島町	14 823	14 888	16	3 005
麻生町	18 155	18 061	24	4 134	境町	25 697	25 900	28	6 110
牛堀町	6 792	6 785	△ 4	1 632	北相馬郡	58 427	61 965	360	15 896
潮来町	22 281	22 509	41	5 912	守谷町	17 585	18 208	80	4 653
北浦村	10 952	10 953	△ 5	2 386	藤代町	26 464	26 959	18	7 100
玉造町	13 551	13 535	2	3 173	利根町	14 378	16 798	262	4 143

(注)「人口増加」は、S 55.11.1 以降、住民基本台帳及び外国人登録原票に基づいたもので、外国人も含まれる。(1.世帯、人口及び人口移動も同じ)

資料：県統計課

3. 産業別賃金指数

(昭和50年=100)

年 月	調査産業計		建設業	製造業	卸売 小売業	金融 保険業	運輸 通信業	電気・ガス 水道 熱供給業	サービス業
	サービス 業を含む	サービス 業を除く							
昭和53年	129.4	130.3	110.8	129.5	150.6	141.4	126.7	128.7	123.7
54	138.7	139.8	132.5	139.5	164.0	139.8	130.8	136.1	131.5
55	151.3	150.6	144.7	150.1	172.5	147.6	144.6	142.9	145.4
55. 8	130.3	129.4	124.7	129.4	157.1	100.6	129.0	106.5	125.7
9	115.4	116.8	117.5	117.2	139.5	102.1	108.5	106.7	106.1
10	116.8	118.5	116.2	116.5	137.6	106.4	125.9	110.7	106.4
11	117.7	119.8	115.8	120.3	142.8	105.2	113.5	107.9	106.3
12	354.6	340.0	296.4	338.8	359.3	390.6	327.0	346.4	372.0
56. 1	117.9	117.3	127.5	113.4	153.3	101.0	117.6	117.1	112.6
2	117.9	118.0	129.9	118.3	133.0	98.1	112.2	112.1	110.9
3	133.2	122.5	135.9	116.1	134.5	116.5	145.7	122.4	151.0
4	120.1	120.5	116.7	118.7	139.9	110.8	126.9	109.2	112.3
5	123.3	125.9	121.6	128.2	141.9	105.3	119.0	114.1	110.0
6	258.8	245.8	203.2	249.9	190.2	322.0	238.4	314.3	273.1
7	179.7	200.3	194.4	208.1	270.5	159.8	148.0	134.6	121.6
8	129.9	134.8	166.3	129.8	154.3	110.2	150.0	113.7	110.9

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

4. 産業別雇用指数

(昭和50年=100)

年 月	調査産業計		建設業	製造業	卸売 小売業	金融 保険業	運輸 通信業	電気・ガス 水道 熱供給業	サービス業
	サービス 業を含む	サービス 業を除く							
昭和53年	110.6	108.1	115.5	105.2	124.1	107.8	109.4	103.7	121.6
54	114.4	110.3	118.9	106.0	132.0	117.7	111.7	103.9	132.8
55	119.8	111.4	120.0	107.2	135.4	119.1	109.3	106.1	157.3
55. 8	119.7	111.0	115.4	106.8	135.3	119.3	109.5	106.4	158.7
9	119.6	110.8	114.9	106.9	133.7	119.1	109.4	106.0	158.6
10	119.3	110.5	114.1	106.7	131.5	119.2	109.7	106.0	158.3
11	119.3	110.5	114.6	107.0	129.7	118.1	109.8	105.5	158.2
12	119.1	110.5	114.9	106.9	130.5	118.2	109.8	105.3	157.3
56. 1	121.4	111.4	129.1	106.0	140.2	117.4	109.8	104.5	166.0
2	121.5	111.4	129.1	106.0	140.1	117.7	109.5	104.4	166.3
3	121.3	111.3	127.8	106.1	142.0	116.4	107.6	103.9	165.7
4	123.4	112.6	120.5	108.5	144.4	120.7	103.2	109.0	171.4
5	123.3	112.4	118.9	108.1	143.6	120.7	105.8	106.8	172.0
6	123.4	112.3	119.0	108.4	140.3	120.1	106.3	106.0	172.6
7	123.1	112.0	118.9	108.3	138.3	118.6	105.8	105.1	172.5
8	123.0	111.9	119.5	108.1	138.2	119.6	106.3	105.1	172.1

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

5. 産業別労働時間

(単位：1人1ヵ月当たり，時間)

年 月	調 査 産 業 計		建 設 業	製 造 業	卸 売 小 売 業	金 融 保 險 業	運 輸 通 信 業	電 気・ガ 斯 水 道 熱 供 給 業	サ ー ビ ス 業	所 定 内 労 働 時 間
	サ ー ビ ス 業 を 含 む	サ ー ビ ス 業 を 除 く								調 査 産 業 計 (サ ー ビ ス 業 を 含 む)
昭和53年	180.7	180.3	197.5	179.1	171.1	164.5	195.9	167.7	182.1	165.2
54	178.4	179.1	193.4	179.4	169.0	158.6	188.2	185.8	175.9	162.9
55	177.0	178.3	194.8	178.5	167.2	161.9	184.5	187.1	173.3	161.8
55. 8	164.9	168.3	189.5	164.1	166.3	157.9	188.0	182.1	154.5	150.6
9	180.0	181.6	200.3	184.2	167.1	155.8	181.0	185.6	174.9	164.4
10	178.2	177.1	194.5	175.1	167.0	168.8	189.8	200.1	181.7	163.2
11	179.0	182.9	197.9	185.0	170.1	155.1	187.6	174.0	167.2	163.8
12	180.0	183.1	204.1	181.5	176.7	177.8	190.0	182.9	170.2	164.4
56. 1	161.5	161.7	178.2	157.2	153.3	150.4	190.0	175.7	161.1	147.3
2	178.1	181.2	197.7	185.5	159.5	150.6	178.3	175.6	169.1	162.8
3	174.6	173.9	195.5	173.6	158.0	163.7	180.3	197.3	176.8	159.0
4	181.8	182.8	187.9	184.6	171.4	170.9	184.0	187.9	178.8	166.4
5	170.5	171.3	177.8	170.6	166.2	157.3	187.2	174.6	168.2	156.3
6	187.0	186.7	203.8	189.2	166.7	172.9	187.0	194.2	187.6	171.9
7	182.5	183.2	202.8	182.7	171.5	174.4	190.7	196.8	180.6	167.9
8	163.5	167.9	187.1	164.3	164.5	156.5	187.0	182.4	151.0	149.3

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

6. 職業紹介状況

(単位：件)

年度・月	一 般 職 業 紹 介 (パートタイムを含まない)						
	新規求人数 (A)	新規求職 申込件数(B)	有効求人数 (月平均) (C)	有効求職者数 (月平均) (D)	就職件数	新規求人倍率 (A/B)	有効求人倍率 (C/D)
昭和53年度	72 136	53 498	16 897	17 910	16 972	1.35	0.94
54	83 799	53 426	20 711	17 154	17 687	1.57	1.21
55	77 985	59 455	19 528	18 700	18 222	1.31	1.04
55. 9	8 095	5 092	20 890	19 132	1 549	1.59	1.09
10	7 533	4 994	22 860	19 005	1 541	1.51	1.20
11	4 772	3 994	19 147	18 117	1 337	1.19	1.06
12	4 210	3 085	16 891	16 479	1 185	1.36	1.03
56. 1	6 494	6 085	17 235	18 277	1 473	1.07	0.94
2	5 661	5 402	17 541	19 042	1 609	1.05	0.92
3	6 454	6 226	18 903	21 157	1 866	1.04	0.89
4	5 960	6 520	20 098	22 537	1 797	0.91	0.89
5	5 491	5 706	19 836	22 154	1 589	0.96	0.90
6	5 482	5 111	19 443	21 083	1 596	1.07	0.92
7	6 907	5 291	21 156	20 664	1 797	1.31	1.02
8	7 585	5 162	21 674	20 540	1 625	1.47	1.06
9	8 524	5 605	22 284	21 245	1 754	1.52	1.05

(注) 学卒・日雇・パートタイムは除く。

資料：県職業安定課

7. 農産物の平均販売価格

(単位：円)

年度・月	うるち米 (自由売) (玄米60kg)	生乳 (飲用10kg)	鶏卵 (10kg)	豚肉 (生体10kg)	肉用牛 (去勢肥育) 和牛・壮令 (生体10kg)	乳用牛 (めす、生後) (6カ月) ホルスタイン 純種	ブロイラー (生体10kg)
昭和53年度	18 282	1 067	2 202	3 895	9 750	93 194	2 573
54	17 814	1 072	2 400	3 501	14 483	96 250	2 586
55	18 929	1 073	3 002	4 301	19 833	128 418	2 784
55. 9	18 833	1 113	2 655	4 380	20 000	136 667	2 663
10	19 333	1 113	3 235	4 245	20 000	143 333	2 683
11	19 167	1 010	3 565	4 294	20 000	143 333	2 783
12	19 333	1 010	3 550	4 569	20 000	116 667	2 850
56. 1	19 333	995	3 375	5 012	20 000	116 667	2 850
2	19 333	995	3 460	4 975	19 000	116 667	2 900
3	19 667	955	3 890	4 511	19 500	116 667	2 980
4	20 000	970	2 915	4 376	19 500	106 667	2 967
5	20 167	1 020	2 590	4 581	19 500	106 667	2 983
6	20 667	1 053	2 645	4 705	19 500	106 667	2 913
7	22 667	1 023	2 425	4 448	19 500	106 667	2 860
8	20 167	1 067	2 575	4 467	19 500	106 667	2 927
9	19 833	1 050	3 010	4 403	19 500	106 667	2 927

年 月	だいこん (1 kg)	にんじん (1 kg)	はくさい (1 kg)	キャベツ (1 kg)	ねぎ (1 kg)	トマト (1 kg)	きゅうり (1 kg)	ピーマン (1 kg)	レタス (1 kg)
昭和53年	37	69	25	67	105	150	169	231	152
54	43	96	50	42	86	149	172	317	162
55	50	80	42	74	148	136	175	305	172
55. 9	59	119	87	74	150	161	213	223	226
10	31	87	35	45	124	71	154	277	99
11	27	55	31	35	131	137	285	464	181
12	26	40	23	43	107	254	350	343	362
56. 1	39	41	30	113	167	236	344	435	624
2	57	46	38	139	200	205	413	623	491
3	72	51	60	139	270	273	315	669	362
4	85	60	76	115	247	271	216	486	188
5	76	121	46	36	239	235	168	307	83
6	48	134	64	43	255	171	184	234	126
7	38	131	79	76	254	134	88	302	165
8	39	237	93	48	143	163	76	215	122
9	46	258	72	34	119	161	168	208	161

(注) (1) 価格は、それぞれの代表生産地における価格である。
 (2) 野菜は、水戸市公設地方卸売市場の卸売価格による。
 (3) 年(度)価格は、年(度)の加重平均値である。

資料：農林水産省茨城統計情報事務所 (TEL.0292-31-2266)
 水戸市公設地方卸売市場

8. 鉱工業生産指数(原指数)

(昭和50年=100)

年 月	産業総合	公益事業	鉱工業	鉱業	製造工業	鉄鋼業	非鉄金属 工 業	金属製品 工 業	機械工業	一般機械	電気機械
	品目数202	2	200	7	193	9	10	9	85	28	46
	ウェイト 10 000.0	925.6	9 074.4	10.8	9 063.6	812.0	562.5	580.1	3 802.0	1 319.0	2 020.1
昭和53年	143.2	104.8	147.1	118.6	147.1	114.6	159.3	303.8	146.3	155.4	145.8
54	161.5	114.2	166.3	112.6	166.3	130.9	163.4	345.9	172.2	199.4	162.7
55	168.2	103.9	174.8	107.7	174.9	130.7	152.8	347.2	196.8	234.8	180.4
55. 8	154.8	100.4	160.3	81.5	160.4	133.6	139.0	313.6	171.2	207.1	153.9
9	168.2	81.1	177.2	125.0	177.3	140.2	135.4	288.2	218.2	251.1	203.4
10	161.1	90.3	168.3	111.1	168.4	138.9	149.9	279.0	188.8	234.1	162.7
11	161.9	92.7	168.9	109.3	169.0	133.2	137.0	241.0	206.5	235.2	193.6
12	170.0	122.6	174.9	124.1	174.9	130.8	154.3	273.2	207.4	237.9	195.6
56. 1	145.6	135.9	146.6	85.2	146.6	124.6	136.5	222.3	166.4	190.3	150.3
2	160.3	98.8	166.6	112.0	166.7	117.3	147.8	245.7	202.6	242.0	175.7
3	175.8	96.3	183.9	126.9	183.9	125.7	154.2	272.1	226.5	250.0	214.4
4	173.1	99.1	180.6	111.1	180.7	123.8	169.0	329.9	207.7	226.4	194.3
5	161.5	99.0	167.9	89.8	167.9	122.7	153.4	319.1	193.9	213.2	181.7
6	168.8	106.5	175.2	116.7	175.2	120.2	161.7	338.2	207.1	243.9	178.2
7	169.5	122.2	174.3	94.4	174.4	121.0	154.0	315.4	202.2	226.1	184.9
8	155.1	122.8	158.4	76.9	158.5	129.1	146.3	262.5	176.4	200.1	162.5

年 月	鉱工業									
	製 造 工 業									
	機 械 工 業		窯 業 土 製品工業	化学工業	石 油 石 炭 製品工業	パ ル プ 紙・紙加 工品工業	繊 維 工 業	木 材 木 工 業	食 料 品 食 工 業	そ の 他 の 工 業
	輸 送 機 械	精 密 機 械								
品目数 8	3	11	23	7	4	9	1	16	9	
ウェイト 266.3	194.6	560.8	429.7	160.9	133.3	310.5	170.8	1 047.3	493.7	
昭和53年	95.0	159.1	171.0	125.2	101.4	143.6	87.3	96.8	119.2	131.1
54	100.6	183.7	194.3	145.0	100.9	150.7	90.3	117.7	121.3	144.9
55	99.9	242.6	198.1	139.1	103.8	152.7	86.0	109.6	114.4	141.9
55. 8	97.1	208.8	195.4	133.1	105.7	140.0	82.4	89.1	122.3	127.8
9	106.7	310.8	181.8	126.3	101.1	148.8	82.3	90.8	113.9	132.4
10	101.7	272.7	205.7	144.3	103.7	155.7	85.9	101.3	117.3	136.5
11	112.3	274.2	195.1	126.1	106.5	147.0	81.0	108.3	103.2	140.6
12	97.9	273.1	194.7	138.0	113.1	150.2	86.8	106.5	124.0	129.6
56. 1	97.9	265.0	179.2	132.4	107.0	132.5	79.8	85.6	97.3	113.6
2	138.8	303.3	204.4	127.0	100.7	141.7	85.6	106.5	104.5	123.6
3	118.9	339.6	218.2	144.1	108.1	143.4	94.9	106.5	118.4	136.2
4	113.8	348.7	204.3	148.0	98.8	141.7	103.1	99.5	125.2	138.0
5	106.5	310.1	205.7	83.1	94.5	135.6	92.9	117.0	111.3	129.7
6	116.1	383.1	209.7	73.7	82.8	151.2	94.9	101.3	117.2	129.4
7	101.7	357.8	203.6	142.3	102.3	145.5	96.0	101.3	114.5	132.8
8	104.9	259.0	191.9	120.7	104.2	140.2	86.8	101.3	113.6	138.1

資料：県統計課

9. 産業別電力消費量

(単位：千kWh)

年度・月	総数	農林・水産 養殖業	鉱業	建設業	製造業	運輸 通信業	電気・ガス 水道業	その他 の産業
昭和53年度	5 223 272	8 192	49 181	28 310	4 519 158	153 574	133 549	331 308
54	6 016 817	9 521	48 313	27 705	5 211 730	157 323	139 484	422 741
55	6 063 199	9 609	48 097	27 551	5 198 313	154 855	147 468	477 306
55. 9	497 125	706	3 867	1 798	428 455	12 380	12 195	37 724
10	536 602	796	4 041	2 252	466 223	12 886	12 801	37 603
11	495 403	690	3 873	2 470	423 567	12 456	11 925	40 422
12	495 056	773	4 191	2 752	420 652	13 647	12 070	40 971
56. 1	447 621	979	4 181	2 658	376 813	14 430	12 981	35 579
2	457 894	806	3 884	2 674	382 665	12 961	11 651	43 253
3	484 977	888	4 372	2 853	411 614	13 719	12 297	39 234
4	499 959	824	4 080	2 710	431 573	12 293	12 277	36 202
5	510 775	781	4 044	2 274	439 546	12 177	12 750	39 203
6	503 532	657	3 948	2 645	428 017	11 395	12 202	44 668
7	541 218	781	3 950	2 625	457 294	12 930	13 608	50 030
8	524 178	1 123	3 917	2 596	444 278	13 967	14 600	43 697
9	519 304	825	3 699	2 594	443 598	12 776	13 443	42 369

(注) 数値は東京電力茨城支店の50kw以上の電力販売量である。
なお、東電以外の自家発電は含まれない。

資料：東京電力茨城支店（TEL.0292-25-1511）

10. 石油製品販売量

(単位：kl)

年 月	総量	揮発油	ナフサ	ジェット 燃料	灯油	軽油	重油	うち A重油
昭和53年	9 439 191	835 466	1 546 809	66 088	540 286	565 936	5 884 605	344 991
54	9 543 254	882 136	1 516 637	70 728	558 705	616 574	5 898 474	363 530
55	8 793 724	884 135	1 476 036	74 755	525 417	597 919	5 235 462	343 395
55. 7	716 529	72 499	116 234	9 419	23 546	46 513	448 318	20 280
8	610 338	73 228	115 260	4 300	21 414	43 675	352 461	19 027
9	696 688	70 492	110 265	4 308	31 703	48 947	430 973	21 812
10	719 636	72 307	114 298	6 265	34 359	50 677	441 730	24 749
11	761 148	71 037	122 587	5 877	42 394	52 383	466 870	28 125
12	929 235	88 349	168 557	6 303	74 003	58 406	533 617	40 145
56. 1	838 024	72 715	91 762	8 236	78 105	47 928	539 251	42 100
2	809 777	71 846	145 302	6 039	71 896	50 288	464 406	39 984
3	713 487	80 260	84 968	20 585	63 402	57 510	406 762	38 311
4	588 500	74 561	80 718	2 008	45 465	51 806	333 942	27 543
5	575 443	70 878	86 910	△1 999	23 560	41 227	354 869	19 838
6	538 319	69 624	15 067	1 000	23 931	41 283	387 414	21 228
7	746 554	83 310	117 721	6 608	32 862	51 735	454 318	23 521

(注) 石油製品製造 輸入業者21社の販売業者向および消費者向販売量の計。

資料：茨城県石油商業組合
(TEL.0292-24-2421)

11. 金融機関別実質預金・貸出残高

(単位：億円)

年 月	総 額		銀 行		相 互 銀 行		信 用 金 庫		信 用 組 合	
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出
昭和53年末	31 406	17 572	17 840	9 298	3 286	2 330	3 240	2 204	2 161	1 497
54	35 198	19 179	19 923	9 950	3 621	2 564	3 763	2 514	2 439	1 782
55	39 275	20 741	22 120	10 774	3 990	2 746	4 176	2 702	2 759	1 984
55. 9	37 353	20 031	21 750	10 337	3 753	2 647	3 908	2 603	2 576	1 889
10	36 595	20 092	20 783	10 423	3 725	2 645	3 910	2 601	2 547	1 874
11	37 493	20 401	21 401	10 622	3 817	2 705	3 979	2 629	2 607	1 893
12	39 275	20 741	22 120	10 774	3 990	2 746	4 176	2 702	2 759	1 984
56. 1	37 713	20 486	21 272	10 667	3 838	2 717	4 100	2 659	2 654	1 927
2	37 626	20 730	21 279	10 827	3 841	2 738	4 090	2 675	2 655	1 952
3	39 493	20 948	22 941	10 921	3 961	2 780	4 113	2 661	2 732	1 998
4	38 641	20 809	22 098	10 902	3 951	2 716	4 161	2 643	2 717	1 951
5	39 103	20 584	22 476	10 672	3 991	2 720	4 202	2 632	2 749	1 939
6	40 240	20 632	23 236	10 681	4 113	2 740	4 260	2 623	2 792	1 952
7	40 497	20 886	23 292	10 863	4 072	2 766	4 306	2 631	2 829	1 976
8	40 434	21 059	23 249	10 946	4 090	2 790	4 341	2 673	2 850	1 988
9	p41 936	p 21 595	24 312	11 270	4 287	2 877	4 396	2 719	2 945	2 040

年 月	農 協		漁 協		そ の 他		郵 便 預 金 預 入 (総額には含まない)
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	
昭和53年末	4 078	1 298	70	117	732	827	593
54	4 523	1 381	75	117	855	871	700
55	5 116	1 509	82	127	1 032	898	629
55. 9	4 409	1 548	79	121	876	885	413
10	4 670	1 541	81	125	879	883	498
11	4 705	1 522	83	124	902	906	624
12	5 116	1 509	82	127	1 032	898	629
56. 1	4 830	1 499	80	124	938	893	331
2	4 736	1 519	80	125	943	894	296
3	4 671	1 546	105	132	969	909	418
4	4 682	1 575	84	127	946	896	503
5	4 644	1 594	84	125	957	901	350
6	4 733	1 614	83	120	1 023	901	483
7	4 881	1 624	85	119	1 032	908	365
8	4 806	1 629	84	121	1 014	913	365
9	p 4 896	p 1 635	p 84	p 121	1 015	933	368

資料：日本銀行水戸事務所 (TEL0292-24-2734)
水戸郵便局調査課 (TEL0292-21-2297)

12. 県内金融経済

年 月	財政資金(百万円)		銀行券受払高(百万円)		手 形 交 換 高 (千枚)	不渡手形 (枚)	信用保証(件)		証券取引高(百万円)	
	収 入	支 払	受 入	払 渡			保証承諾	代位弁済	株 式	公 社 債
昭和53年	583 083	739 006	509 705	570 629	2 533	18 373	21 995	634	419 857	354 108
54	640 678	849 911	561 919	621 430	2 590	18 146	21 512	445	423 055	336 343
55	751 769	952 493	594 938	627 467	2 538	18 260	22 349	575	408 344	492 512
55. 8	58 550	44 413	44 345	39 219	188	1 282	1 738	26	28 262	37 540
9	68 389	89 600	42 097	42 378	222	1 928	1 733	50	34 594	45 779
10	52 400	75 089	42 063	45 379	210	1 735	1 913	48	35 559	50 573
11	47 446	97 807	33 988	44 161	177	1 070	1 971	57	34 581	30 546
12	88 740	83 738	68 837	142 919	272	1 780	3 531	73	31 954	42 207
56. 1	69 016	36 490	104 556	29 317	183	1 184	1 207	66	33 799	47 112
2	45 183	41 415	35 842	44 797	195	1 172	1 643	60	28 866	28 801
3	77 653	127 997	34 368	42 529	208	1 309	2 057	60	44 129	63 775
4	59 925	137 073	43 606	48 223	206	1 361	1 735	52	…	…
5	58 224	78 798	48 128	36 073	190	1 080	1 667	43	…	…
6	73 403	102 316	52 106	72 093	223	1 577	2 036	41	…	…
7	72 191	60 000	49 512	41 353	218	1 236	2 371	29	…	…
8	62 598	41 322	45 028	40 516	201	1 210	1 869	33	…	…

資料：日本銀行水戸事務所 (TEL 0292-24-2734)

13. 企業倒産状況

(単位：件、万円)

年 月	総 数		建 設 業		製 造 業		卸・小売業		そ の 他	
	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額
昭和53年	147	2 613 600	52	591 600	24	839 000	34	386 000	37	797 000
54	187	3 297 800	74	1 492 500	39	675 500	49	886 300	25	243 500
55	151	2 215 500	61	612 700	27	692 500	42	467 100	21	443 200
55. 9	13	441 800	2	28 000	5	291 500	3	18 800	3	103 500
10	14	162 800	7	58 000	1	11 000	5	62 800	1	31 000
11	10	141 000	4	74 500	2	32 000	2	27 500	2	7 000
12	9	183 900	4	33 400	2	15 500	1	15 000	2	120 000
56. 1	9	41 000	4	19 300	1	10 000	3	8 200	1	3 500
2	5	39 000	—	—	1	18 000	1	10 000	3	11 000
3	13	680 800	3	42 500	7	628 000	2	2 100	1	8 200
4	10	143 800	1	3 200	3	35 000	5	102 800	1	2 800
5	14	90 600	8	34 600	1	11 000	4	43 000	1	2 000
6	13	198 000	7	112 500	2	34 000	4	51 500	—	—
7	7	32 300	1	3 000	2	17 000	2	6 300	2	6 000
8	11	159 000	3	113 500	4	23 000	4	22 500	—	—
9	9	50 500	4	26 000	—	—	5	24 500	—	—

(注) 負債額1千万円以上。

資料：東京商工リサーチ水戸支店 (TEL 0292-24-2741)

14. 家計主要指標 (水戸市・全国)

(単位：円，%)

年 月	勤 勞 者 世 帯								全 世 帯		(6) 消費者 物 価 指 数
	実 収 入	(1) 可 処 分 所 得	消費支出	(2) 黒 字	貯蓄純増	(3) 平均消費 性 向	(4) 実質実収 入 指 数	(4) 実質消費 支出指数	消費支出	(5) エンゲル 係 数	
水 戸 市											
昭和53年	288 517	255 597	210 018	45 579	13 047	82.2	109.1	108.4	205 287	26.5	122.5
54	302 671	268 352	207 637	60 715	45 913	77.4	110.7	103.7	202 091	29.4	126.6
55	320 934	279 944	230 264	49 680	23 365	82.3	108.6	106.3	221 308	28.0	136.9
55. 8	252 813	216 076	215 283	793	△12 036	99.6	85.3	99.1	207 965	31.5	137.3
9	249 517	213 410	215 787	△2 377	△20 711	101.1	83.5	98.6	201 068	31.6	138.4
10	243 740	209 770	195 499	14 271	6 059	93.2	81.1	88.8	190 760	31.7	139.2
11	242 669	214 333	221 805	△7 472	△4 409	103.5	80.3	100.2	210 162	27.1	139.9
12	657 396	595 388	330 714	264 675	191 806	55.5	219.8	151.0	296 027	26.1	138.5
56. 1	259 809	224 207	217 113	7 094	△5 208	96.8	85.5	97.5	211 949	25.2	140.8
2	270 074	235 249	214 388	20 861	2 762	91.1	89.0	96.4	204 932	29.6	140.6
3	341 895	296 800	262 964	33 835	27 920	88.6	111.6	117.2	249 514	27.7	141.9
4	326 639	271 445	268 569	2 876	△11 123	98.9	105.4	118.3	258 150	26.7	143.5
5	320 072	265 287	247 453	17 834	△14 140	93.3	102.7	108.3	235 364	30.2	144.4
6	611 053	533 318	351 551	259 502	207 324	51.3	195.6	153.6	249 251	27.4	144.7
7	420 874	358 124	268 682	89 442	77 933	75.0	135.0	117.6	252 325	26.5	144.4
p8	334 007	282 115	256 591	25 524	3 457	91.0	108.4	113.7	238 556	28.5	142.7
全 国											
昭和53年	304 562	270 307	208 232	62 075	37 511	77.0	105.2	102.3	201 715	30.2	122.6
54	326 013	286 828	222 438	64 389	38 199	77.6	108.7	105.5	214 697	29.2	127.0
55	349 686	305 549	238 126	67 423	39 714	77.9	107.9	104.5	230 568	29.0	137.2
55. 8	311 305	272 795	236 704	36 091	2 999	86.8	95.6	103.4	230 089	29.5	137.9
9	282 225	245 092	216 568	28 524	11 478	88.4	85.4	93.2	212 227	31.1	140.0
10	288 439	250 753	229 730	21 024	3 603	91.6	87.1	98.7	225 322	30.0	140.2
11	293 630	255 789	224 713	31 076	10 249	87.9	88.5	96.3	217 673	30.1	140.5
12	764 993	682 828	357 187	325 640	235 962	52.3	232.0	154.1	329 771	27.4	139.6
56. 1	279 304	241 339	229 434	11 904	14 235	95.1	83.7	97.8	223 153	25.6	141.3
2	280 425	242 231	209 791	32 440	872	86.6	84.0	89.4	204 619	29.9	141.4
3	320 646	278 405	264 637	13 768	△1 055	95.1	95.5	112.1	254 860	26.9	142.2
4	294 517	251 093	253 357	△2 264	△16 860	100.9	87.0	106.5	242 830	27.8	143.3
5	300 049	252 353	233 498	18 855	△1 404	92.5	87.7	97.1	226 257	30.4	144.8
6	473 373	407 641	243 4 5	164 185	114 977	59.7	138.4	101.3	227 360	29.8	144.8
7	438 840	381 067	264 510	116 557	84 846	69.4	128.9	110.5	247 715	28.3	144.2
p8	317 051	273 580	290 926	26 125	2 365	90.5	93.5	122.0	236 295	29.7	143.6

(注) (1) 実収入 - 非消費支出 (2) 可処分所得 - 消費支出
 (3) 消費支出 ÷ 可処分所得 (4) 当該項目(50年=100) ÷ 消費者物価指数
 (5) 食料費 ÷ 消費支出 (6) 昭和50年 = 100

資料：総理府統計局

15. 1ヵ月1世帯当りの収入（水戸市，勤労者世帯）

（単位：世帯，人，歳，円）

年 月	集 計 世帯数	世 帯 人 員	有 業 人 員	世帯主 の年齢	収 入 総 額	実 収 入				実収入 以外の 収 入	前 月 からの 繰入金
						実収入	勤め先 収 入	事業・ 内職 収 入	他 の 実収入		
昭和53年	66	3.74	1.35	39.7	494 709	288 517	273 154	4 204	11 159	124 506	81 685
54	62	3.85	1.28	38.7	479 795	302 671	282 244	6 865	13 562	95 012	82 113
55	65	3.85	1.38	41.8	563 271	320 934	297 538	7 694	15 702	149 488	92 849
55. 8	67	3.97	1.31	41.6	435 987	252 813	236 016	5 478	11 319	99 130	84 045
9	64	3.84	1.38	42.2	442 795	249 517	222 011	6 711	20 794	110 392	82 887
10	66	3.88	1.38	41.9	424 909	243 740	226 654	8 687	8 399	93 325	87 844
11	67	3.97	1.39	40.9	435 334	242 669	222 926	7 812	11 931	108 249	84 417
12	69	3.97	1.35	40.0	896 880	657 396	639 682	10 639	7 075	166 450	73 034
56. 1	67	3.93	1.40	40.9	463 562	259 809	239 223	7 552	13 034	109 755	93 998
2	65	3.91	1.43	41.9	463 429	270 074	255 358	5 246	9 470	110 126	83 229
3	63	3.98	1.41	43.1	550 747	341 895	309 690	4 894	27 311	124 204	84 648
4	67	4.07	1.40	41.9	559 429	326 639	298 907	3 837	23 894	156 222	76 568
5	67	3.97	1.43	41.2	546 551	320 072	299 119	7 448	13 506	154 673	71 806
6	68	3.97	1.46	41.5	818 052	611 053	588 802	7 094	15 157	133 205	73 794
7	68	3.90	1.40	42.6	656 884	420 874	388 516	8 444	23 914	138 745	97 265
p8	67	3.85	1.39	42.5	588 353	334 007	316 019	8 927	9 061	164 895	89 451

（注） 集計世帯数，世帯人員，有業人員，世帯主年齢は支出にも該当する。

資料：総理府統計局

16. 1ヵ月1世帯当りの支出（水戸市，勤労者世帯）

年 月	実支出	消 費 支 出							非消費 支 出	実支出 以外の 支 出	繰越金	現 物 総 額
		計	食料費	住居費	光熱費	被服費	雑 費					
昭和53年	242 938	210 018	52 930	19 780	6 948	18 882	111 479	32 920	168 771	83 000	12 176	
54	241 956	207 637	56 656	19 483	6 871	18 806	105 821	34 319	152 826	85 014	12 859	
55	271 254	230 264	*59 244	22 696	11 668	16 082	120 574	40 990	197 304	94 714	14 699	
55. 8	252 019	215 283	61 607	21 228	9 432	14 186	108 829	36 737	99 362	84 606	16 262	
9	251 894	215 787	60 275	18 183	8 890	10 487	117 953	36 106	104 933	85 968	13 817	
10	229 469	195 499	59 440	16 401	9 122	19 227	91 309	33 970	113 313	82 127	11 681	
11	250 141	221 805	57 503	19 578	11 009	15 897	117 816	28 336	107 570	77 624	14 056	
12	392 721	330 714	79 232	36 257	15 930	34 867	164 427	62 008	410 848	93 310	28 976	
56. 1	252 715	217 113	*52 392	12 775	16 454	13 744	121 748	35 602	120 617	90 230	20 579	
2	249 212	214 388	58 210	14 360	17 998	11 904	111 915	34 824	123 625	90 593	10 162	
3	308 060	262 964	67 673	12 575	17 578	21 540	143 599	45 096	161 965	80 723	12 373	
4	323 763	268 569	66 559	13 595	15 467	17 211	155 737	55 194	162 462	73 204	15 026	
5	302 238	247 453	69 747	17 681	14 699	24 963	120 362	54 785	168 083	76 230	13 564	
6	351 551	273 815	69 390	32 533	12 556	19 742	139 593	77 736	371 172	95 329	15 216	
7	331 432	268 682	67 032	27 889	11 193	25 027	137 540	62 750	235 086	90 365	21 498	
p8	308 482	256 591	68 639	22 531	11 848	14 653	138 919	51 891	188 113	91 757	20 160	

（注） *消費支出の内訳が昭和56.1から10項目に再編成されたため，昭和55.12までと各項目の内容は一致しない。とりあえず，食料費(旧)＝食料(新)，住居費＝住居＋家具・家事用品，光熱費＝光熱・水道，被服費＝被服及び履き物，雑費＝保健医療＋交通・通信＋教育＋教養娯楽＋その他の消費支出として計上した。昭和55年(平均)も同じ。

資料：総理府統計局

17. 消費者物価指数（水戸市）

（昭和50年＝100）

年 月	総 合	対前月 上昇率 (%)		食 料	対前年 (同月) 上 昇 率 (%)		住 居	光 熱	被 服
		対前月 上昇率 (%)	対前年 (同月) 上 昇 率 (%)		う ち 主 食	副 食 品			
昭和53年	122.5	—	3.7	120.7	125.9	117.7	117.1	110.6	122.8
54	126.6	—	3.3	122.3	128.5	119.3	119.3	116.2	130.4
55	136.9	—	8.1	130.2	135.6	127.7	125.6	166.2	139.4
55. 9	138.4	0.8	9.1	130.5	136.9	127.0	127.4	173.7	141.8
10	139.2	0.6	6.3	132.5	137.4	126.3	128.4	173.7	140.0
11	139.9	0.5	7.9	133.1	137.5	126.4	129.1	173.7	140.7
12	138.5	△ 1.0	7.0	131.8	137.5	125.8	129.5	173.7	132.8
56. 1	140.8	1.7	6.6	137.4	137.7	135.9	129.2	173.5	131.9
2	140.6	△ 0.1	5.8	136.9	138.0	136.1	129.2	172.9	131.9
3	141.9	0.9	5.3	138.4	138.2	139.2	129.6	172.9	136.6
4	143.5	1.1	6.1	137.4	140.8	139.0	130.1	179.2	144.4
5	144.4	0.6	5.0	136.6	141.8	134.0	130.2	174.9	149.1
6	144.7	0.2	5.2	136.7	142.1	131.2	134.0	176.1	148.3
7	144.4	△ 0.2	4.0	137.7	144.6	129.5	133.2	176.0	144.3
8	142.7	△ 1.2	3.9	135.9	144.7	129.2	132.7	178.9	133.2
9	145.3	1.8	5.0	137.3	144.7	134.7	133.7	178.9	149.5

年 月	雑 費	う ち		交 通	自 動 車 等	教 育	文 房 具	教 養 娯 楽
		保 健 医 療	理 容 衛 生					
昭和53年	127.9	120.8	129.7	158.4	101.2	153.6	111.2	120.4
54	133.8	122.6	132.3	167.9	108.7	169.0	111.7	124.7
55	143.1	123.1	138.2	171.9	119.2	196.0	123.2	133.3
55. 9	145.0	123.1	138.9	171.8	117.9	204.9	125.9	135.4
10	145.3	123.2	139.6	172.2	118.0	204.9	129.6	135.6
11	146.3	123.3	140.3	177.2	117.9	204.9	129.6	136.3
12	146.5	123.4	141.2	175.5	117.9	204.9	130.2	137.3
56. 1	147.4	123.7	141.6	175.5	117.8	204.9	134.2	139.1
2	147.3	123.7	142.1	176.9	117.4	204.9	134.2	138.6
3	147.6	123.0	142.1	176.9	117.8	204.9	134.2	139.2
4	150.4	125.5	142.6	177.6	119.8	217.2	134.2	142.0
5	151.8	126.2	147.4	182.7	122.3	217.2	134.2	141.4
6	151.7	127.5	147.0	182.9	122.0	217.2	135.9	141.9
7	151.3	127.5	147.8	183.0	122.0	217.2	135.9	140.6
8	152.9	127.5	147.5	180.9	125.1	217.2	127.4	144.8
9	152.0	127.5	148.7	180.9	125.9	217.2	126.5	141.8

資料：県統計課

18. 卸売物価指数(全国)

(昭和50年=100)

年 月	総 合	対 前 月 上 昇 率 (%)	対 前 年 (同月) 上 昇 率 (%)	食 料 品	製 材・ 木 製 品	鉄 鋼	化学製品	石 油・ 石 炭	電 気・ ガ ス
54	111.9	—	7.3	115.5	133.2	119.4	109.0	116.0	120.8
55	131.8	—	17.8	124.1	149.6	130.5	131.3	193.9	184.4
55. 8	134.5	0.7	17.5	125.7	147.5	132.4	134.1	204.0	205.0
9	134.1	△ 0.3	15.5	126.3	143.3	131.6	133.9	202.8	203.8
10	133.1	△ 0.7	13.4	126.8	138.9	130.8	132.9	200.3	194.5
11	133.2	0.1	11.7	127.5	139.6	130.4	132.1	201.3	196.7
12	133.0	△ 0.2	9.6	128.3	138.4	129.9	131.7	201.0	197.1
56. 1	132.3	△ 0.5	6.7	127.8	136.2	129.0	130.2	199.9	196.6
2	132.1	△ 0.2	3.9	127.9	133.4	128.4	129.2	202.0	196.0
3	132.1	0.0	1.8	127.9	131.1	128.4	128.7	203.3	196.2
4	132.7	0.5	△ 0.5	128.2	132.3	129.5	128.7	206.4	196.8
5	133.8	0.8	0.5	129.1	133.6	130.6	129.0	212.9	197.1
6	134.4	0.4	1.1	129.3	132.2	132.4	128.4	218.1	196.4
7	135.0	0.4	1.1	129.7	131.1	133.6	129.1	220.1	205.6
8	135.7	0.5	0.9	130.2	130.6	133.7	129.5	224.6	206.2

資料：日本銀行統計局

19. 生活保護

(単位：世帯，‰，人)

年度・月	被 保 護 世 帯	被 保 護 実 人 員	保 護 率	生活扶助 人 員	住宅扶助 人 員	教育扶助 人 員	医療扶助 人 員	その他扶助 人 員
昭和53年度	8 142	16 071	6.5	13 537	7 057	3 283	8 659	32
54	7 953	15 579	6.2	13 040	6 979	3 139	8 500	27
55	7 832	15 261	6.0	12 898	7 265	3 176	9 228	16
55. 8	7 855	15 307	6.0	12 933	7 267	3 170	9 202	11
9	7 855	15 290	6.0	12 934	7 280	3 185	9 298	19
10	7 855	15 304	6.0	12 958	7 275	3 183	9 465	11
11	7 833	15 263	6.0	12 957	7 291	3 192	9 376	14
12	7 841	15 315	6.0	13 054	7 380	3 199	9 448	14
56. 1	7 800	15 211	5.9	12 954	7 361	3 181	9 377	17
2	7 816	15 226	5.9	12 964	7 386	3 177	9 632	14
3	7 882	15 390	6.0	13 161	7 547	3 311	9 755	14
4	7 846	15 260	5.9	13 079	7 529	3 326	9 423	16
5	7 834	15 530	5.9	12 966	7 475	3 218	9 447	16
6	7 836	15 123	5.9	12 985	7 543	3 220	8 424	20
7	7 854	15 148	5.9	13 016	7 567	3 234	8 138	22
8	7 843	15 135	5.9	12 920	7 488	3 198	9 587	14

- (注) (1) 停止中も含む。
 (2) 保護率=被保護実人員÷毎月推計人口。
 (3) その他は、生業、出産、葬祭扶助である。

資料：県社会福祉課

20. 消費生活相談

(単位：件)

年 月	受付件数	内 容 別 延 件 数								
		安 全 衛 生	品 質 機 能	価 格 料 金	表 示・広 告 包 装	販 売 方 法 契 約 サ ー ビ ス	ク リ ー ニ ン グ	買 物	そ の 他	
昭和53年	2 429	771	992	166	159	565	106	46	444	
54	2 886	796	1 261	227	119	837	88	64	600	
55	2 606	678	1 089	214	116	859	105	53	491	
55. 9	254	77	107	11	15	71	12	5	53	
10	235	47	89	23	12	73	16	2	52	
11	165	40	69	11	11	49	8	3	31	
12	198	53	76	23	4	78	8	7	28	
56. 1	205	65	75	16	10	69	15	8	36	
2	232	37	87	18	6	96	6	3	48	
3	241	45	93	27	9	90	12	1	40	
4	210	44	71	9	6	110	7	4	34	
5	194	36	64	14	6	93	11	1	43	
6	212	54	82	15	6	94	8	—	45	
7	268	78	96	15	13	94	3	7	62	
8	182	42	75	11	9	73	8	3	47	
9	296	87	107	28	19	119	14	2	77	

資料：県消費生活センター（TEL0292-24-4722）

21. 建築主別建築着工

(単位：百万円，千m²)

年 月	総 数		建 築 主					
			官 公 庁		会社その他の法人		個 人	
	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額
昭和53年	6 133	524 149	1 378	167 442	1 440	118 730	3 314	237 978
54	6 116	524 417	992	118 971	1 695	141 855	3 429	263 591
55	5 783	577 698	793	107 971	1 969	207 519	3 021	262 207
55. 6	390	37 888	35	4 449	114	12 545	240	20 894
7	475	45 459	65	8 782	125	11 237	286	25 440
8	510	51 635	107	13 936	154	15 072	250	22 628
9	428	44 508	75	10 192	138	15 112	215	19 204
10	507	49 409	98	13 325	178	15 936	231	20 147
11	454	48 817	73	9 997	176	20 592	205	18 228
12	533	58 655	65	10 149	214	25 401	255	23 105
56. 1	331	32 901	57	6 927	84	8 602	190	17 372
2	371	39 934	56	8 657	98	11 334	217	19 943
3	425	40 290	26	3 561	129	12 235	270	24 494
4	481	47 033	35	4 086	166	16 891	280	26 055
5	464	47 937	59	7 683	159	16 821	245	23 432
6	407	38 541	28	3 356	109	10 277	270	24 908

(注) 官公庁とは、国、県、市町村を加えたものである。

資料：県建築指導課

22. 着工新設住宅

(単位：戸、㎡)

年 月	総 数		持 家		貸 家		給 与 住 宅		分 譲 住 宅	
	戸 数	床 面 積	戸 数	床 面 積	戸 数	床 面 積	戸 数	床 面 積	戸 数	床 面 積
昭和53年	34 738	3 295 849	20 373	2 290 426	5 410	271 668	3 125	278 981	5 830	454 774
54	35 548	3 335 316	20 225	2 327 138	7 042	349 789	1 216	92 002	7 035	566 387
55	30 391	2 940 531	17 351	2 022 844	5 313	251 066	601	50 263	7 126	616 358
55. 6	2 186	218 883	1 389	162 473	340	15 166	36	4 600	421	36 644
7	2 690	260 592	1 688	194 306	461	21 703	88	5 631	453	38 952
8	2 528	245 674	1 528	174 262	472	23 011	16	2 133	512	46 268
9	2 188	199 800	1 197	139 134	494	20 576	12	1 278	485	38 812
10	2 837	263 608	1 332	151 699	561	27 934	96	8 034	848	75 941
11	2 349	222 119	1 195	138 077	396	18 537	111	7 331	647	58 174
12	2 820	257 651	1 437	168 422	534	23 337	26	2 282	823	63 610
56. 1	1 941	184 095	1 157	131 878	391	18 335	35	3 492	358	30 390
2	2 235	208 784	1 215	142 494	705	39 977	11	1 799	304	24 514
3	2 285	229 005	1 521	177 527	383	19 130	51	3 439	330	28 909
4	2 685	260 641	1 649	195 654	419	19 683	30	2 408	587	42 896
5	2 208	220 872	1 396	163 073	387	18 226	19	3 494	406	36 079
6	2 539	251 018	1 616	184 069	394	16 684	43	3 897	486	46 368

資料：建設省計画局

23. レジャー状況

(単位：円、件、人、台)

年 月	勤 労 者 世 帯 (水戸市)		旅 券 交 付 件 数 (観光訪問・その 他個人的目的)	大 洗 水 族 館 利 用 者 数	筑 波 ス カ イ ラ イ ン 利 用 台 数		
	外 食 費	教 養 娛 楽 費 (印刷物・聴視観 覧料・旅行費等)			二 輪 車	乗 用 車	バ ス ・ そ の 他
昭和53年	6 968	17 866	26 924	※ 540 679	※ 15 407	※ 218 372	※ 9 621
54	8 576	18 262	27 824	※ 540 697	※ 18 898	※ 213 119	※ 9 393
55	8 233	21 176	26 708	※ 539 516	※ 23 290	※ 207 771	※ 9 498
55. 9	9 310	19 377	2 274	26 619	2 723	18 410	731
10	8 768	15 324	2 370	21 489	2 162	18 874	1 358
11	8 130	19 428	1 962	22 584	2 329	22 241	1 232
12	12 379	25 778	2 332	6 958	1 201	9 469	247
56. 1	8 520	19 947	2 437	24 954	1 616	18 889	236
2	7 514	23 354	2 439	18 430	1 258	10 891	178
3	9 105	26 700	2 244	42 491	2 537	16 767	436
4	6 128	21 162	2 163	34 142	2 313	17 830	1 257
5	9 350	21 351	2 214	90 027	2 460	22 247	2 121
6	10 744	20 789	2 172	37 746	1 083	9 919	968
7	p 8 572	p 22 414	2 477	80 086	2 034	13 325	678
8	p 10 244	p 31 935	2 894	197 584	2 981	30 922	764
9	2 779	18 576	805

- (注) (1) 「外食」「教養娯楽」は、抽出調査によるため対象は水戸市内の少数世帯に限られている。
 (2) 筑波スカイライン利用台数は風返し料金所を通過したもの。また貨物、路線バスも含まれる。
 (3) ※は年度数値。

資料：総理府統計局 県総合県民室 県道路公社

24. 交通事故発生件数

(単位：人，件)

年 月	発生件数	死 者	負 傷 者	原 因 別 発 生 件 数							
				安 全 運 転 義 務 違 反			酒 酔 い	最 高 速 度 違 反	追 越 し	徐 行	一 時 停 止 違 反
				わ き 見 方 意 不 注 意	安 全 速 度	ハ ン ド ル プ レ ー キ 操 作 不 適 当					
昭和53年	10 239	331	13 514	3 114	989	370	600	546	337	713	474
54	10 528	316	13 867	3 025	1 036	351	489	539	329	786	540
55	10 264	317	13 372	3 652	779	276	323	545	255	702	750
55. 9	838	28	1 091	316	65	24	14	40	25	61	64
10	858	29	1 065	358	53	12	25	42	19	59	54
11	822	20	1 046	269	63	20	26	56	24	59	56
12	948	22	1 199	378	74	32	30	43	21	48	77
56. 1	720	23	944	246	56	29	25	59	24	41	42
2	641	24	829	203	69	28	25	46	16	32	40
3	819	30	1 081	323	73	15	22	51	32	46	53
4	856	15	1 083	343	84	18	36	33	17	51	54
5	877	32	1 164	356	72	17	32	45	21	52	59
6	790	26	1 023	304	66	19	22	37	17	53	53
7	973	26	1 257	366	94	22	37	44	22	71	56
8	927	29	1 302	375	92	20	26	38	19	60	71
9	840	32	1 084	327	70	24	16	54	25	57	54

(注) 原因別発生件数はうち書のため，その計は発生件数と一致しない。

資料：県警察本部交通企画課

25. 自動車保険請求

(単位：件)

年 月	総 数			自 賠			保 障			任 意		
	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他
昭和53年	607	277	516	456	229	436	16	3	13	24	6	15
54	592	330	609	412	277	485	10	2	15	31	11	24
55	599	239	642	429	198	576	9	2	7	102	24	22
55. 9	56	17	60	28	11	51	1	1	1	24	5	6
10	60	18	79	33	11	70	—	—	—	14	4	7
11	55	14	69	45	11	64	1	—	2	7	3	2
12	50	26	66	35	16	61	1	1	1	12	7	2
56. 1	40	13	65	29	12	58	—	—	2	8	1	1
2	50	14	64	38	10	57	2	—	3	5	3	1
3	45	15	76	29	13	70	1	—	2	10	1	2
4	34	12	70	24	9	65	—	—	2	8	2	—
5	46	21	60	27	21	52	1	—	—	6	—	3
6	42	15	78	23	13	71	1	—	—	10	1	2
7	43	25	67	32	22	63	—	—	—	5	1	—
8	50	18	56	34	16	51	1	1	—	13	1	1
9	60	22	60	31	18	51	—	—	—	21	3	4

(注) (1) 自賠，保障，任意はうち書のため総数と合計は一致しない。

(2) 自賠＝自動車損害賠償責任保険。保障＝政府保障事業で，保険によらず直接運輸大臣あて請求するもの(無保険・引き逃げ)。任意＝民間の保険。

資料：日本損害保険協会水戸自動車
保険請求相談センター
(TEL 0292-26-1693)

26. 刑法犯罪発生件数

(単位：件)

年 月	総 数 (認知件数)	凶 悪 犯	粗 暴 犯	窃 盗	知 能 犯	風 俗 犯	そ の 他
昭和53年	21 265	243	1 308	17 679	814	146	1 075
54	21 652	204	1 238	17 719	1 746	106	639
55	21 766	208	1 187	18 031	1 684	117	539
55. 9	1 952	24	92	1 621	160	8	47
10	1 938	24	62	1 630	170	15	37
11	1 772	20	94	1 522	97	9	30
12	1 885	13	124	1 560	128	9	51
56. 1	1 539	16	72	1 289	121	4	37
2	1 727	15	70	1 488	115	2	37
3	1 825	15	81	1 565	115	6	43
4	1 897	33	76	1 536	189	7	56
5	1 923	19	84	1 640	141	16	23
6	2 027	18	121	1 695	126	23	44
7	1 707	19	116	1 346	177	13	36
8	1 956	12	88	1 654	162	10	30
9	2 484	18	120	2 029	275	6	36

資料：県警察本部刑事総務課

27. 火災発生件数

(単位：件、世帯、人、棟)

年 月	発生件数	罹災世帯数	罹災人員数	死 傷 者 数		焼 損 棟 数	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)
				死 者	負 傷 者		建 物 (m ²)	林 野 (a)	
昭和53年	1 861	763	2 764	53	131	1 295	59 216	5 771	3 513 956
54	1 658	671	2 408	58	155	1 188	50 365	12 450	3 027 339
55	1 514	668	2 484	51	117	1 163	54 158	4 382	4 428 947
55. 9	59	33	133	1	7	60	2 473	—	102 533
10	77	29	105	3	8	68	3 356	52	286 063
11	82	51	182	4	7	72	3 538	6	433 519
12	167	65	278	4	14	145	5 925	82	286 934
56. 1	251	69	256	5	20	138	8 150	494	744 666
2	185	75	273	9	13	124	5 650	620	325 307
3	230	110	369	6	22	165	8 105	r 256	r 625 825
4	184	66	264	5	9	116	5 151	742	317 789
5	94	44	168	3	r 7	78	3 543	28	292 116
6	62	41	153	—	12	65	1 683	1	146 851
7	85	43	132	2	5	82	3 300	42	230 670
8	95	52	161	2	17	80	5 054	r 14	r 489 761
9	58	34	98	2	2	57	2 782	23	190 908

資料：県消防防災課

山に魅せられて

梅雨明けを待って飛び出した槍ヶ岳。いつものことながら新宿アルプス広場での登山客の群れは、私の心を一足飛びに山へと運んでしまいます。レールの響きを耳元にしていと松本です。眠たい目をこすりながら重いザックを背負って押し立つ駅のホームは長く続き、階段は急な登りのようです。タクシーに乗って上高地へ直行、傍から見れば贅沢なタクシー利用も4、5人のグループなら割増料金があっても経済的で、先を急ぐ山登りには便利で時間の短縮になります。その上、朝早くから並んで客を待っているタクシーの運転手にも喜ばれることを知りました。

新穂高温泉からの槍平コースは、関西方面の登山基地ということもあり、人が少ないことがなによりです。飛騨沢での花の群落は、岩ばかり見ながら歩く途中で疲れた心に体に、小さな花ながら心が和みます。黄花のシナノキンバイ、白花のハクサンイチゲなど通り過ぎてしまいそうな小さな花に、ふと立ち止まり後で雑誌で名前を調べることも、山登りの小さな楽しみになりました。

飛騨乗越からひょっこり現われる槍の穂先は、偉容にそびえ立っています。

山頂で震えながら待つ日の出。雲海から金色に輝く太陽がのぞく一瞬に一同のどよめき、シャッターの音。狭い山頂は活気あふれています。いつの間にか、雲が山々から滝のように流れ、眠っていた山々が顔を見せてきます。常念山脈、穂高連峰、鋭い北鎌尾根と3179.5mからの視界のすばらしさは、苦しく長かった山登りを忘れさせてしまいます。そして、初めて見ることのできたブロッケン現象には、二重の喜びでした。

サクサクと霜柱を踏みしめ、ときには、湿った倒木や青苔に足をとられながら、紅葉と初冬を求めて歩いた北八ヶ岳。今年2度目ということもあり物足りなさを感じながらも、がつがつと高度をかせごうとせず、自然

に親しみながら快晴ということもあって、南・中央アルプス、御岳、乗鞍岳、穂高連峰、後立山連峰と続く山々を方角や形から見つけることができたことも大きな収穫でした。

高見石小屋でのどぶろく祭りに出会ったことも印象深いものでした。泊まり客がコップと箸を持ち寄り、にがり酒とささやかな料理を前に、自己紹介をしながら過ごします。薪をくべたストーブを囲みながら、薄氷のはる外の寒さも忘れ、にぎやかに過ごすひときは、女性登山客の多い北八ヶ岳ならではの光景でしょうか。次の朝の挨拶が自然に一言、二言とでてくるのも気持ちのいいものです。山小屋独特の行事や個性さを求めている山登りも楽しいものでしょう。

こうして、幕を閉じた2年目の山登りは、山でのいくつかの楽しみを教えてくれました。そして、冬を向かえた現在、写真やスライドをながめながら、すばらしさを再び味わっています。

(県統計協会・大門留美子)

写真は、槍ヶ岳山頂より穂高連峰をのぞむ。



【新着資料案内】

この資料は、昭和56年9月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。

行政資料室 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2668)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央官公庁関係		農業災害対策の手引	農業経済課
昭和56年版 モニタ一年報	総 理 府	昭和56年 茨城県農業共済組合等要覧	"
昭和55年版 青少年白書	"	昭和56年 茨城県農業協同組合の現況 (基礎資料編)	"
高齢者問題の現状	"	農業近代化資金制度事務必携	"
昭和54年度 統計基準年報	行政 管理 庁	昭和56年度 茨城県畑作振興方策	営農再編対策課
昭和56年 地域景気動向指数に関する調査報告	経 済 企 画 庁	昭和56年度 茨城の野菜	流通園芸課
昭和56年版 環境白書	環 境 庁	昭和56年度 茨城県私立幼稚園名簿	教育庁総務課
昭和55年版 過疎対策の現況	国 土 庁	昭和56年度 青少年社会参加研究セミナー資料	教育庁社会教育課
1981年版 世界の国一覽表	外 務 省	昭和56年 明るい選挙推進運動要綱	選挙管理委員会
昭和54年度 国債統計年報	大 蔵 省	昭和56年 人事委員会年報	人事委員会事務局
昭和54年 人口動態統計 中,下巻	厚 生 省	県内市町村関係	
昭和56年版 優生保護統計報告	"	石 岡 市 勢 要 覧	石 岡 市
昭和56年版 国民栄養の現状	"	那珂湊市史料第5,6集	那珂湊市
昭和55年版 水道事業計画と資材需要	"	常陸太田市勢要覧	常陸太田市
昭和55年度版 漁業白書	農 林 水 産 省	澗沼川ほとりの文化	友 部 町
昭和55年度版 農業白書	"	岩間町合併25周年記念誌	岩 間 町
昭和55年度版 図説林業白書	"	昭和56年 瓜連町勢要覧	瓜 連 町
昭和55年版 我が国企業の海外事業活動	通 商 産 業 省	鹿 島 町 史 第 3 卷	鹿 島 町
昭和55年 貿易業態統計表	"	合併25周年記念要覧	八 郷 町
昭和56年版 都市交通年報	運 輸 省	昭和56年 数字で見る村のすがた	桜 村
昭和56年版 建設統計要覧	建 設 省	合併25周年記念要覧	猿 島 町
昭和56年版 地方財政白書	自 治 省	都道府県関係	
昭和55年版 公共施設状況調査	"	昭和56年 農林統計からみた秋田	秋田県統計課
地方公務員給与の実態	"	昭和56年 人口統計からみた秋田	"
茨城県関係		昭和56年 統計からみた栃木県の地位	栃木県統計課
昭和56年度 ポケット予算	議 会 事 務 局	昭和56年 群馬県勢要覧	群馬県統計課
昭和56年 職員の厚生福利概要	職 員 課	昭和56年 群馬県の工業	"
昭和55年度 主要施策の成果に関する報告書	財 政 課	昭和55年における群馬県の賃金、労働時間及び雇用の動き	"
国の予算編成に対する要望事項	企 画 調 整 課	昭和56年 千葉県鉱工業指数年報	千葉県統計課
昭和56年度版 広報・広聴	広 報 課	昭和56年 東京の産業圏でみる実態と動向	東京都労働経済局
昭和56年 常陸川水門操作に伴う水象水質調査報告書	水 資 源 対 策 課	'80 都 政	" 生活文化局
余暇ガイドブック	総 合 県 民 室	昭和56年 都 政 要 覧	" 議会事務局
昭和56年 消費者行政の概要	"	情報公開一制度化をめざして一	神奈川県情報公開準備室
県西地域広域的水道整備計画,水需要予測(資料編その1)	水 道 計 画 課	県民所得推計報告書	" 統計管理課
県西広域水道用水供給事業基本計画書(資料編その2)	"	1980年世界農林業センサス調査結果報告書	新潟県統計課
昭和56年 山村等振興事業の概要	農 政 企 画 課	静岡県 の 賃 金 と 労 働 時 間 と 雇 用	静岡県統計課
地域農業経営改善推進事業報告書	"	1980年世界農林業センサス結果報告書(1)(2)	大阪府統計課
		昭和55年版 大阪府統計年鑑	"

